

[HOME](#) [PATENTWEB](#) [TRADEMARKWEB](#) [WHAT'S NEW](#) [PRODUCTS & SERVICES](#) [ABOUT MICROPATENT](#)

Search



List



First



Prev



Next



Last

MicroPatent's Patent Index Database: Record 4 of 6 [Individual Record of JP2000226322A]

[Order This Patent](#)[Family Member\(s\)](#)

[no drawing available]

JP2000226322A ☐ 20000815**Title:** (ENG) AGAR OR SODIUM ALGINATE GRANULE-CONTAINING COSMETIC COMPOSITION**Abstract:** (ENG)

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To obtain a cosmetic composition which is safe to the skin and involves a moderate massage feeling in granule itself.

**SOLUTION:** This composition is a cosmetic composition characterized by including granules which contain agar and/or sodium alginate and have a particle diameter of 100-5,000  $\mu\text{m}$  and a hardness of 50-500 gf per one granule. As this composition contains the granules of a specific particle diameter and hardness, a fine touch to the skin and the comfortable massage feeling are provided and the washing power is also sufficient.

**Application Number:** JP 2620499 A**Application (Filing) Date:** 19990203**Priority Data:** JP 2620499 19990203 A X;**Inventor(s):** HASEBE KOHEI ; YAMADA KIOMI**Assignee/Applicant/Grantee:** ICHIMARU PHARCOS INC**IPC (International Class):** A61K00748; A61K00700; A61K00702; A61K007025; A61K007031; A61K007032; A61K007035; A61K007043; A61K007075; A61K00708; A61K00732; A61K00742; A61K00750; A61K00970**Other Abstracts for Family Members:** CHEMABS133(11)155176A; DERABS C2000-641406**Other Abstracts for This Document:** CHEMABS133(11)155176A; DERABS C2000-641406**Legal Status:** There is no Legal Status information available for this patent

Search



List



First



Prev



Next



Last

Copyright © 2002, MicroPatent, LLC. The contents of this page are the property of MicroPatent LLC including without limitation all text, html, asp, javascript and xml. All rights herein are reserved to the owner and this page cannot be reproduced without the express permission of the owner.

4/7/3

DIALOG(R) File 352:Derwent WPI

(c) 2004 Thomson Derwent. All rts. reserv.

013469463

WPI Acc No: 2000-641406/200062

Cosmetic composition containing agar or sodium alginate granule showing  
good feeling to skin

Patent Assignee: ICHIMARU PHARCOS INC (ICHP )

Number of Countries: 001 Number of Patents: 001

Patent Family:

Patent No	Kind	Date	Applicat No	Kind	Date	Week
JP 2000226322	A	20000815	JP 9926204	A	19990203	200062 B

Priority Applications (No Type Date): JP 9926204 A 19990203

Patent Details:

Patent No	Kind	Lan	Pg	Main IPC	Filing Notes
JP 2000226322	A		26	A61K-007/48	

Abstract (Basic): JP 2000226322 A

NOVELTY - Cosmetic composition, comprising granule of particle size  
of 1000 to 5000 micro meters, the granule containing agar and/or sodium  
alginate.

DETAILED DESCRIPTION - Cosmetic comprising the granule of hardness  
of 5 to 500 gf. is also claimed. Cosmetics comprising the granule and  
granule containing coloring agent is also claimed.

USE - Useful as cosmetics for skin such as cream, lotion, and other  
formulation.

pp; 26 DwgNo 0/0

Derwent Class: D21

International Patent Class (Main): A61K-007/48

International Patent Class (Additional): A61K-007/00; A61K-007/02;

A61K-007/025; A61K-007/031; A61K-007/032; A61K-007/035; A61K-007/043;

A61K-007/075; A61K-007/08; A61K-007/32; A61K-007/42; A61K-007/50;

A61K-009/70

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号  
特開2000-226322  
(P2000-226322A)

(43) 公開日 平成12年8月15日 (2000.8.15)

(51) Int.Cl. <sup>7</sup>	識別記号	F I	テマコード(参考)
A 6 1 K 7/48		A 6 1 K 7/48	4 C 0 7 6
7/00		7/00	J 4 C 0 8 3
			K
			U
			W

審査請求 未請求 請求項の数 3 O L (全 26 頁) 最終頁に続く

(21) 出願番号	特願平11-26204	(71) 出願人	000119472 一丸ファルコス株式会社 岐阜県本巣郡真正町浅木318番地の1
(22) 出願日	平成11年2月3日 (1999.2.3)	(72) 発明者	長谷部 浩平 岐阜県岐阜市山吹町1の4
		(72) 発明者	山田 記丘美 岐阜県岐阜市美園町1の4

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 寒天又はアルギン酸ナトリウム顆粒含有化粧品組成物

(57) 【要約】

【課題】 肌に対して安全であり、顆粒自体が適度なマッサージ感を有することを課題とする。

【解決手段】 寒天又は／及びアルギン酸ナトリウムを含有して造粒した顆粒の粒径が100～5000μmにある、顆粒硬度が一粒当たり5～500gfにある顆粒を含有することを特徴とする化粧品組成物である。

【効果】 特定の粒径・硬度の顆粒を含有しているので、皮膚に対するあたりが良く、又、顆粒の心地良いマッサージ感も得られ、洗浄力も十分有するものである。

## 【特許請求の範囲】

【請求項1】寒天又は／及びアルギン酸ナトリウムを含有して造粒した顆粒の粒径が100～5000 $\mu$ mにある顆粒を含有することを特徴とする化粧料組成物。

【請求項2】請求項第1項記載の顆粒の一粒当たりの硬度が5～500gfにある顆粒を含有することを特徴とする化粧料組成物。

【請求項3】請求項第1～2項記載の顆粒に、更に着色性物質を含有して造粒した顆粒を含有することを特徴とする化粧料組成物。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は有用性のある顆粒を含有した化粧料組成物に関するもので、詳しくは、寒天又は／及びアルギン酸ナトリウムを用いて造粒した顆粒、又、更に着色性物質を加えて造粒した顆粒であって、粒径が100～5000 $\mu$ mにある顆粒、又はその顆粒硬度が5～500gfにある顆粒を含有すること

で、顆粒自体が適度なマッサージ効果を持ち、又、洗浄効果も高い化粧料組成物への応用に関するものである。  
【0002】その利用分野は、例えば、洗浄剤、マッサージ用剤、クレンジング用剤などに用いるのが有効であるが、その他、各種の外用製剤類（動物用に使用する製剤も含む）全般において利用でき、具体的には、アンブル状、カプセル状、丸剤、錠剤状、粉末状、顆粒状、固形状、液状、ペースト状、O/W乳化状、W/O乳化状、ゲル状又は気泡状の1)医薬品類、2)医薬部外品類、3)局所用又は全身用の皮膚用化粧品類（例えば、化粧水、乳液、クリーム、軟膏、ローション、オイル、パックなどの基礎化粧料、洗顔料や皮膚洗浄料、除毛剤、脱毛剤、髭剃り処理料、アフターシェーブローション、ブレスローション、シェービングクリームなど）、4)頭皮・頭髮に適用する薬用及び／又は化粧用の製剤類（例えば、シャンプー剤、リンス剤、トリートメント剤、パーマネット液、染毛料、整髪料、ヘアートニック剤、育毛・養毛料など）、5)浴湯に投じて使用する浴用剤、6)その他、液臭・防臭防止剤や衛生用品、衛生綿類、ウェットティッシュなどが挙げられる。

## 【0003】

【従来の技術】これまでに知られている顆粒を配合する洗浄料や化粧料において含有される顆粒を検討してみると、その材質や特徴からいくつかの種類に分けられるようである。すなわち（1）例えば、植物の種子の殻を粉砕したものや或いはポリエチレン、ポリスチレンなどの炭化水素系高分子素材からなるもので、粒径が50 $\mu$ m～1000 $\mu$ m程のものだが、使用時にあっていつまでもその大きさが変わらないようなタイプのもの。（2）水溶性結合剤や油脂などを結合剤として用い、数 $\mu$ m～20 $\mu$ m程の粉体を200 $\mu$ m～2000 $\mu$ m程の顆粒としたもので、使用時に徐々に小さくなって、無くなってしまうタ

イプのものなどが代表的なものである。

## 【0004】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、これらには、製造において或いは使用時にあって次のような不都合や欠点をもっており、例えば、皮膚や目に対する粒子の接触感があり、又、マッサージ的な効果、汚れの除去効果（洗浄効果）も高いが、何れも強すぎ、従って、皮膚・肌に対して、粒子の形状により、その使用における過度な刺激が、肌を傷つけ、荒れが生じ、洗浄後にはチクチク痛みを感じてしまうなど、顆粒形状の影響による傷害が大きかった。又、顆粒形状が円球・真球に近いものでも、顆粒の硬度によってはやはり肌を傷つけ、荒れが生じ、洗浄後にはチクチク痛みを感じてしまうなど、弊害を生じていた。又、逆に顆粒の硬度が小さすぎるとマッサージ効果や洗浄効果といったスクラブ機能は逆に少なく、顆粒形状・顆粒硬度によりスクラブ機能に差異が生じていた。

## 【0005】

【課題を解決するための手段】従って、本発明者らは、こうした種々の欠点や不都合のない新しいタイプの顆粒を開発することを目的とし鋭意研究を重ねてきた。すなわち、どのように規定されたタイプの粒子が顆粒として、化粧料組成物中に含有することができ、皮膚や目に対して、傷や刺激、異和感がなく、適度なマッサージ（血行促進）効果及び洗浄効果を持ち、更に心地良い使用感を兼ね備えた安全なものを提供することをもって、本発明を完成するに至った。

【0006】すなわち、寒天又は／及びアルギン酸ナトリウム、又、更に着色性物質を含有して造粒された顆粒の粒径が100～5000 $\mu$ mにある顆粒、又、その顆粒硬度が5～500gfにある顆粒を含有することを特徴とする化粧料組成物を提供するものである。

## 【0007】

【発明の実施の形態】尚、本発明で利用できる寒天、アルギン酸ナトリウム、着色性物質を以下に示すが、これらに限定されるものでない。

【0008】尚、本発明で使用する「寒天」とは、テングサ科(Gelidiaceae)、テングサ目(Gelidiales)、テングサ属(Gelidium)植物：テングサ(別名：マクサ)(Gelidium amansii Lamouroux)又は、その他同属植物、テングサ科(Gelidiaceae)又は諸種紅藻類(Rhodophyta)から得た粘液を脱水したもので、主成分はグロース( $\beta$ -D-ガラクトピラノースが、1,3-グリコシド結合した鎖状物質)を含有している。

【0009】「アルギン酸ナトリウム」とは、褐藻類(Phaeophyceae)を希アルカリで抽出し、精製した炭水化物のナトリウム塩である。

【0010】着色性物質は、水不溶性の着色性物質として、無機性着色料：酸化鉄、黄酸化鉄、黒酸化鉄、ベンガラ、グンジョウ、カーボンブラック、酸化クロム、水

酸化クロム、カラミン、無水ケイ酸、ケイ酸、ケイ酸アルミニウム、ケイ酸アルミニウムマグネシウム、ケイ酸ジルコニウム、タルク、シリカ、酸化チタン、二酸化チタン、カオリン、アルミナ、モンモリナイト、ヘクトライト、ベントナイト、ゼオライト、酸化マグネシウム、酸化亜鉛、酸化ジルコニウム、ウルトラマリンブルー、ウルトラマリングリーン、ウルトラマリンレッド、ウルトラマリンバイオレット、マンゴバイオレット、リン酸カルシウム、リン酸水素カルシウム、第二リン酸カルシウム、第二リン酸カルシウム、重質炭酸カルシウム、軽質炭酸カルシウム、炭酸カルシウム、イオウ、金粉、銀粉、銅粉などが挙げられ、又、有機性着色料（タール色素）：リソールルビンBCA、レーキレッドCBA、リソールレッド、リソールレッドCA、リソールレッドBA、リソールレッドSR、テトラクロルテトラブromフルオレセイン、ブリリアントレーキレッドR、ディーブマルーン、トルイジンレッド、テトラブromフルオレセイン、スダンIII、ヘリンドンピンクCN、バーマントレッド、ジブromフルオレセイン、バーマントオレンジ、ベンチジンオレンジG、ジヨードフルオレセイン、キノリンエローSS、ベンチジンエローG、キニザリングリーンSS、インジゴ、カルバンスレンブルー、アリズリンパープルSS、ブリリアントファストスカールレッド、バーマントレッドF5R、薬用スカールレッド、オイルレッドXO、ハンサオレンジ、オレンジS、ハンサエロー、エローAB、エローOB、スダンブルーB、フタロシアニンブルーなど、レーキ顔料（純色素又は純色素の塩を基剤に吸着、共沈、又はラジカルな結合によって得られる不溶性色素）などが挙げられる。更に天然性着色料：バブリカ色素、ニンジンカロチン色素、シタン色素（サンダルウッド色素）、その他、グアイアズレンなどが挙げられる。

【0011】又、水溶性の着色性物質として、有機性着色料（タール色素）：アマランサス、エリスロシン、ニューコクシン、フロキシシンB、ローズベンガル、アシッドレッド、タートラジン、サンセットエローFCF、ファストグリーンFCF、ブリリアントブルーFCF、インジゴカルミン、リソールルビンB、レーキレッドC、ローダミンB、ローダミンBアセテート、ローダミンBステアレート、ファーストアシッドマゲンダ、エオシンYS、エオシンYSK、フロキシシンBK、ローズベンガルK、オレンジII、エリスロシン黄NA、フルオレセイン、ウラニン、ウラニンK、キノリンエローWS、アリザリンシアニングリーンF、ピラニンコンク、ライトグリーンSF黄、パテントブルーNA、パテントブルーCA、アルファズリンFG、レゾルシンブラウン、ピオラミンR、ボンソー3R、ボンソーR、ボンソーSX、ファストレッドS、オレンジI、ポーラエロー5G、ナフロールエローS、メタニルエロー、ファストライトエロー3G、ナフトールグリーンB、ギネアグリーンB、

アリズロールパープル、ナフトールブルーブラックなど、又、レーキ顔料（純色素又は純色素の塩を基剤に吸着、共沈、又はラジカルな結合によって得られる水溶性色素）などが挙げられる。更に天然性着色料：クチナシ色素、コチニール色素、ラック色素、アカネ色素、赤キャベツ色素、紫コーン色素、エルダーベリー色素、ボイセンベリー色素、ブドウ果皮色素、ブドウ果汁色素、ハイビスカス色素、ムラサキイモ色素、ベニバナ黄色素、ベニバナ色素、コウリヤン色素、タマネギ色素、カカオ色素、タマリンド色素、スピリリナ色素、赤ビート色素、紅麹色素、紅麹黄色素、ウコン色素、クチナシ青色素、シタン色素（サンダルウッド色素）、その他、無機性着色料：酸化マグネシウムなどが挙げられる。

【0012】又、上記の寒天又は／及びアルギン酸ナトリウムに、着色性物質を1種又は2種以上を任意に選択し、組み合わせることもできる。

【0013】尚、製造方法は特に制限されるものではないが、本発明の顆粒は、一般的な方法（押出し造粒法、溶融造粒法、液相造粒法など）により製造することができ、本発明の顆粒の粒径は、100～5000 $\mu$ mの範囲のものをを用いるが、好ましくは、200～800 $\mu$ mが良く、顆粒粒径の調整は、顆粒の種類、使用目的、用途において、製造時の攪拌翼速度、篩いなどを用い、一般的な方法で任意に調整することができる。

【0014】又、本発明の顆粒の硬度は、一粒当たり5～500gfの範囲のものをを用いるが、好ましくは、20～100gfが良く、顆粒硬度の調整は、寒天又はアルギン酸ナトリウムの含有量によって、任意に調整することができる。

【0015】更に、本発明の顆粒は、1種又は2種以上を組み合わせることもでき、化粧料組成物の種類、期待される作用の程度によって若干異なるが、全組成物中に通常、0.01～20重量%以上（以下、%で表わす）、好ましくは0.05～5%が良く、含有量が0.01%より少ないと効果が充分期待できない。

【0016】本発明の顆粒を含有する化粧料組成物は、前記の必須成分に加え必要に応じ、本発明の効果を損なわない範囲内で、医薬品類、医薬部外品類、化粧品類などの製剤に使用される成分や添加剤を任意に選択・併用して製造することができる。

【0017】(1)各種油脂類

アボガド油、アーモンド油、ウイキョウ油、エゴマ油、オリーブ油、オレンジ油、オレンジラファ油、ゴマ油、カカオ脂、カミツレ油、カロット油、キューカンバー油、牛脂脂肪酸、ククイナツツ油、サフラワー油、シア脂、大豆油、ツバキ油、トウモロコシ油、ナタネ油、バーシク油、ヒマシ油、綿実油、落花生油、タートル油、ミンク油、卵黄油、カカオ脂、バーム油、バーム核油、モクロウ、ヤシ油、牛脂、豚脂又はこれら油脂類の水素添加物（硬化油等）など。

## 【0018】(2)ロウ類

ミツロウ、カルナバロウ、鯨ロウ、ラノリン、液状ラノリン、還元ラノリン、硬質ラノリン、カンデリラロウ、モンタンロウ、セラックロウ、ライスワックス、スクワレン、スクワラン、プリスタンなど。

## 【0019】(3)鉱物油

流動パラフィン、ワセリン、パラフィン、オゾケライド、セレシン、マイクロクリスタンワックスなど。

## 【0020】(4)脂肪酸類

ラウリン酸、ミリスチン酸、パルミチン酸、ステアリン酸、ベヘン酸、オレイン酸、12-ヒドロキシステアリン酸、ウンデシレン酸、トール油、ラノリン脂肪酸などの天然脂肪酸、イソノナン酸、カブロン酸、2-エチルブタン酸、イソペンタン酸、2-メチルペンタン酸、2-エチルヘキサン酸、イソペンタン酸などの合成脂肪酸。

## 【0021】(5)アルコール類

エタノール、イソプロパノール、ラウリルアルコール、セタノール、ステアリルアルコール、オレイルアルコール、ラノリンアルコール、コレステロール、フィトステロールなどの天然アルコール、2-ヘキシルデカノール、イソステアリルアルコール、2-オクチルドデカノールなどの合成アルコール。

## 【0022】(6)多価アルコール類

酸化エチレン、エチレングリコール、ジエチレングリコール、トリエチレングリコール、エチレングリコールモノエチルエーテル、エチレングリコールモノブチルエーテル、ジエチレングリコールモノメチルエーテル、ジエチレングリコールモノエチルエーテル、ポリエチレングリコール、酸化プロピレン、プロピレングリコール、ポリプロピレングリコール、1,3-ブチレングリコール、グリセリン、ペンタエリトリール、ソルビトール、マンニトールなど。

## 【0023】(7)エステル類

ミリスチン酸イソプロピル、パルミチン酸イソプロピル、ステアリン酸ブチル、ラウリン酸ヘキシル、ミリスチン酸ミリスチル、オレイン酸オレイル、オレイン酸デシル、ミリスチン酸オクチルドデシル、ジメチルオクタノ酸ヘキシルデシル、乳酸セチル、乳酸ミリスチル、フタル酸ジエチル、フタル酸ジブチル、酢酸ラノリン、モノステアリン酸エチレングリコール、モノステアリン酸プロピレングリコール、ジオレイン酸プロピレングリコールなど。

## 【0024】(8)金属セッケン類

ステアリン酸アルミニウム、ステアリン酸マグネシウム、ステアリン酸亜鉛、ステアリン酸カルシウム、パルミチン酸亜鉛、ミリスチン酸マグネシウム、ラウリン酸亜鉛、ウンデシレン酸亜鉛など。

## 【0025】(9)ガム質、糖類及び水溶性高分子化合物

アラビアゴム、ベンゾインゴム、ダンマルゴム、グアヤ

ク脂、アイルランド苔、カラヤゴム、トラガントゴム、キャロブゴム、クインシード、寒天、カゼイン、乳糖、果糖、ショ糖及びそのエステル、トレハロース及びその誘導体、デキストリン、ゼラチン、ベクチン、デンプン、カラギーナン、カルボキシメチルキチン又はキトサン、エチレンオキシドなどのアルキレン(C2~C4)オキシドが付加されたヒドロキシアルキル(C2~C4)キチン又はキトサン、低分子キチン又はキトサン、キトサン塩、硫酸化キチン又はキトサン、リン酸化キチン又はキトサン、アルギン酸及びその塩、ヒアルロン酸及びその塩、コンドロイチン硫酸及びその塩、ヘパリン、エチルセルロース、メチルセルロース、カルボキシメチルセルロース、カルボキシエチルセルロース、カルボキシエチルセルロースナトリウム、ヒドロキシエチルセルロース、ヒドロキシプロピルセルロース、ニトロセルロース、結晶セルロース、ポリビニルアルコール、ポリビニルメチルエーテル、ポリビニルピロリドン、ポリビニルメタクリレート、ポリアクリル酸塩、ポリエチレンオキシドやポリプロピレンオキシドなどのポリアルキレンオキシド又はその架橋重合体、カルボキシビニルポリマー、ポリエチレンイミンなど。

## 【0026】(10)界面活性剤

アニオン界面活性剤（アルキルカルボン酸塩、アルキルスルホン酸塩、アルキル硫酸エステル塩、アルキルリン酸エステル塩）、カチオン界面活性剤（アルキルアミン塩、アルキル四級アンモニウム塩）、両性界面活性剤：カルボン酸型両性界面活性剤（アミノ型、ペタイン型）、硫酸エステル型両性界面活性剤、スルホン酸型両性界面活性剤、リン酸エステル型両性界面活性剤、非イオン界面活性剤（エーテル型非イオン界面活性剤、エーテルエステル型非イオン界面活性剤、エステル型非イオン界面活性剤、ブロックポリマー型非イオン界面活性剤、含窒素型非イオン界面活性剤）、その他の界面活性剤（天然界面活性剤、タンパク質加水分解物の誘導体、高分子界面活性剤、チタン・ケイ素を含む界面活性剤、フッ化炭素系界面活性剤）など。

## 【0027】(11)各種ビタミン類

ビタミンA群：レチノール、レチナール（ビタミンA1）、デヒドロレチナール（ビタミンA2）、カロチン、リコピン（プロビタミンA）、ビタミンB群：チアミン塩酸塩、チアミン硫酸塩（ビタミンB1）、リボフラビン（ビタミンB2）、ビリドキシン（ビタミンB6）、シアノコバラミン（ビタミンB12）、葉酸類、ニコチン酸類、パントテン酸類、ピオチン類、コリン、イノシトール類、ビタミンC群：アスコルビン酸及びその誘導体、ビタミンD群：エルゴカルシフェロール（ビタミンD2）、コレカルシフェロール（ビタミンD3）、ジヒドロタキステロール、ビタミンE群：トコフェロール及びその誘導体、ユビキノール類、ビタミンK群：フィトナジオン（ビタミンK1）、メナキノール（ビ

タミンK2)、メナジオン(ビタミンK3)、メナジオール(ビタミンK4);その他、必須脂肪酸(ビタミンF)、カルニチン、フェルラ酸、γ-オリザノール、オロツト酸、ビタミンP類(ルチン、エリオシトリン、ヘスペリジン)、ビタミンUなど。

【0028】(12)各種アミノ酸類

バリン、ロイシン、イソロイシン、トレオニン、メチオニン、フェニルアラニン、トリプトファン、リジン、グリシン、アラニン、アスパラギン、グルタミン、セリン、システイン、シスチン、チロシン、プロリン、ヒドロキシプロリン、アスパラギン酸、グルタミン酸、ヒドロキシリジン、アルギニン、オルニチン、ヒスチジンなどや、それらの硫酸塩、リン酸塩、硝酸塩、クエン酸塩、或いはピロリドンカルボン酸のごときアミノ酸誘導体など。

【0029】(13)植物又は動物系原料由来の種々の添加物

これらは、添加しようとする製品種別、形態に応じて常法的に行われる加工(例えば、粉碎、製粉、洗浄、加水分解、醗酵、精製、圧搾、抽出、分画、ろ過、乾燥、粉末化、造粒、溶解、滅菌、pH調整、脱臭、脱色などを任意に選択、組合わせた処理)を行い、各種の素材から任意に選択して供すれば良い。

【0030】尚、抽出に用いる溶媒については、供する製品の使用目的、種類、或いは後に行う加工処理等を考慮した上で選択すれば良いが、通常では、水、水溶性有機溶媒(例えば、エタノール、プロピレングリコール、1,3-ブチレングリコールなど)の中から選ばれる1種もしくは2種以上の混液を用いるのが望ましい。但し、用途により有機溶媒の含有が好ましくない場合においては、水のみを使用したり、或いは抽出後に除去しやすいエタノールを採用し、単独又は水との任意の混液で用いたりすれば良く、又、搾取抽出したものでも良い。

【0031】尚、植物又は動物系原料由来の添加物を、全身用又は局所用の外用剤、化粧品類に供する場合、皮膚や頭髮の保護をはじめ、保湿、感触・風合いの改善、柔軟性の付与、刺激の緩和、芳香によるストレスの緩和、細胞賦活(細胞老化防止)、炎症の抑制、肌質・髪質の改善、肌荒れ防止及びその改善、発毛、育毛、脱毛防止、光沢の付与、清浄効果、疲労の緩和、血流促進、温浴効果などの美容的効果のほか、香付け、消臭、増粘、防腐、緩衝などの効果も期待できる。

【0032】原料とする具体的な植物(生薬)としては、例えば、アーモンド(へん桃)、アイ(藍葉)、アオカズラ(清風藤)、アオツツラフジ(木防己)、アカシア、アカシヨウマ(赤升麻)、アカスグリ果実、アカブドウ、アカミノキ(ログウッド)、アカメガシワ(赤芽柏)、アカネ(茜草根)、アカヤジオウ・ジオウ(地黄)、アギ(阿魏)、アキニレ(槲櫟皮)、アケビ(木通)、アサ(麻子仁)、マルバアサガオ又はアサガオ(牽牛子)、アジサイ(紫陽

花)、アマチャ(甘茶)、アシタバ(明日葉)、アマナ(光慈姑)、アズキ(赤小豆)、アセロラ、アセンヤク(阿仙薬)、アニス、アベマキ果実、アボカド、アマ、アマチャ(甘茶)、アマチャヅル、アマドコロ(玉竹)、アミガサユリ(貝母)、アルテア、アルニカ、アロエ(蘆薈)、アロエベラ、アンジェリカ、アンズ・ホンアンズ(杏仁)、アンソッコウ(安息香)、イガコウソリナ(地胆頭)、イグサ(灯心草)、イタドリ(虎杖根)、イチゴ、イチジク(無花果)又はその葉、イチハツ(一初)、イチビ(冬葵子)、イチヤクソウ(一葉草)、イチヨウ(銀杏葉、銀杏)、イトヒメハギ(遠志)、イナゴマメ、イヌナズナ(テイレキシ)、イネ種子又は種皮は種皮、イノンド種子、イブキジャコウソウ、イラクサ、イランイラン、イワタバコ(岩高苺)、ウーロン茶、ウイキョウ(茴香)、ウキヤガラ(三稜)、ウグイスカグラ果実、ヒメウイキョウ、ウコン(鬱金)、ウキクサ(浮萍)、ウスバサイシン・ケイリンサイシン(細辛)、ウスベニアオイ、ウスベニタチアオイ、ウツボグサ(夏枯草)、ウド又はシシウド(羌活、独活、唐独活)、ウメ(烏梅)又はその果肉、ウラジロガシ、ウワウルシ(クサコケモモ)、ウンシュウミカン(陳皮)、エストラゴン、エソウコギ(蝦夷五加)、エチナシ(ホソバムラサキバレンギク)、エニシダ、エノキタケ(榎茸)、エビスグサ/カッシア・トーラ(決明子)、エルダーベリー果実、エレミ、エリンギ(ブレロータスエリンジ)、エンジュ(槐花、槐花米)、オウギ・キバナオウギ(黄耆)、オウレン(黄連)、オオカラスウリ(カロニン)、オオツツラフジ(防己)、オオバコ(車前子、車前草)、オオハシバミ(榛子)、オオバナオケラ・オケラ(白朮)、オオバヤシャブシ果実、オオミサンザシ・サンザシ(山査子)、オウセイ(ナルコユリ、カギクマバナルコユリ)、オウヒササノユキ、ササノユキ、オオムギ(大麦)、オオホシグサ(穀精草)、オグルマ(旋覆)、オクラ果実、オタネニンジン・トチバニンジン(人參)、オトギリソウ・コゴメバオトギリソウ・セイヨウオトギリソウ(弟切草)、オドリコソウ(統断)、オナモミ(蒼耳子)、オニグルミ、オニノヤガラ(天麻)、オニユリ・ササユリ・ハカタユリ(百合)、オノニス、オヒョウ(裂葉楡)、オミナエシ(敗醬)、オランダカラシ(クレソン)、オランダゼリ、オランダミツバ、オリーブ(果実、種子、葉)、オレガノ、オレンジ果実又は果皮、カイケイジオウ(熟地黄)、カカオ種子、カキ又はその葉(柿蒂)、カギカズラ(釣藤鈎)、カシア、カキノキ果実(栲実)、ガジュツ(莪朮)、カシワ(榭樹、榭葉)、カスカリラ、カスカラサグラダ、カニクサ(金沙藤)、カノコソウ(吉草根)、カバノキ又はシダレカンバ(白樺)、カボチャ、カボックノキ種子、カホクサンショウ(蜀椒)、ガマ(蒲黄)、カミツレ・ローマカミツレ、カミヤツデ(通草)、カムカム/カモカモ、カラスウリ(王瓜)、カラスビシャク(半夏)、カラスムギ、ガラナ種子、カラホオ(厚朴)、カラヤ、カリン(木瓜)、ガルシニア、カワラ

タケ, カワラナデシコ (石竹)・エゾカワラナデシコ (瞿麦, 瞿麦子), カワラヨモギ (茵陈蒿), カンスイ (甘遂), カンゾウ (甘草), カンタラアサ, カンデリラ, カントウ, カンナ, キイチゴ (エゾイチゴ, オランダイチゴ, エビガライチゴ, ナワシロイチゴ, モミジイチゴ, ヨーロッパキイチゴ), キウイ果実, キカラスウリ (瓜呂根), キキョウ (桔梗, 桔梗根), キク (菊花, シマカンギク, チョウセンノギク), キササゲ (梓実), ギシギシ (羊蹄根), キジツ (枳実), キズタ, キダチアロエ, キダチハッカ, キナ, キナノキ (シンコーナ, アカキナノキ), キハダ (黄柏), ギムネマ・シルベスタ, キャベツ, キャベツ未熟果, キュウリ, ギョリュウ (西河柳・てい柳), キラジャ・サボナリア, キラヤ, キランソウ (金瘡小草), キンカン果実, キンマ, キンミズヒキ (仙鶴草), グアバ果実, グアユーレ, ケルクス・インフェクトリア (没食子), ククイナツツ, クコ (枸杞, 枸杞子, 枸杞葉, 地骨皮), クサスギカズラ (天門冬), クズ (葛根), クスノキ, グースベリー果実, クチナシ (山梔子), クヌギ (樺ソウ), クマザサ, クマツヅラ (馬鞭草), クララ (苦参), クランベリー果実, クリ又はその洗皮, クルクリゴ・ラチフォリア果実, グレープフルーツ, クロウメモドキ, クロガネモチ (救必応), クロバナヒキオコシ, クローブ (丁子, 丁香), グンバイナズナ (セキメイ, セキメイシ), ケイガイ (荊芥, 荊芥穂), ケイトウ (鶏冠花, 鶏冠子), ゲッケイジュ (月桂樹), ケナシサルトリイバラ (土茯苓, 山帰来), ゲンチアナ, ゲンノショウコ (老鶴草), コウジノタチバナノオオベニミカンノボンカンノサントラ (橘皮), コウシンバラ (月季花), コウスイハッカ, コウゾ果実, コウチャ (紅茶), コウホネ (川骨), コウホン (藁本, 唐藁本), コウリヤン, コエンドロ果実, コオウレン (胡黄連), コガネバナ (黄ゴン), コケモモ (越橘), ココヤシ果実, ゴシユ (呉茱萸), ゴシヨイチゴ (覆盆子), コショウ (胡椒), コバイバルサム, コーヒー豆, コブシ・モクレン (辛夷), ゴボウ (牛蒡, 牛蒡子), コボタンヅル, ゴマ (胡麻), ゴマノハグサ (玄参), ゴミシ (五味子)・サネカズラ・ヒナンカズラ・マツブサ, コムギ (小麦), 米・米糠 (赤糠, 白糠)・コメ油, コーラ・アクミナタ種子, コーラ・ベラ種子, コロハ果実, コロンボ, コンズランゴ, コンブ, コンニャク, コンフリー (鰐張草), サイザル (サイザルアサ), サキシマボタンヅル (威靈仙), サクラ (オオシマザクラ, ヤマザクラ, オオヤマザクラ, エドヒガシ, マメザクラ, ミヤマザクラ, ソメイヨシノ, タカネザクラ, カスミザクラ, チョウジザクラ, コヒガン, サトザクラ, カンザクラ) の葉・花・果実・樹皮 (桜皮), サクランボ, ザクロ, ササ, サザンカ, サジオモダカ (沢瀉), サツマイモ, サトウキビ, サトウダイコン, サネブトナツメ (酸棗仁), サフラン (番紅花, 西紅花), ザボン果実, サボンソウ, サーモンベリー果実, サラシナショウマ (升麻), サルビア (セージ), サワ

ギキョウ (山梗菜), サワグルミ (山胡桃), サンシチニンジン (三七人參), サンシュユ (山茱萸), サンショウ (山椒), サンズコン (山豆根), シア (カリテ), シアノキ果実, シイタケ (椎茸), シオン (紫苑), ジキタリス, シクンシ (使君子), シソ・アオジソ・チリメンジソ・カタメンジソ (紫蘇葉, 紫蘇子), シタン, シナノキ, シナホオノキ, シナレンギョウ (連翹), シメジ (ヒンシメジ, シャカシメジ, ハタケシメジ, オシロイシメジ, ブナシメジ, シロタモギタケ), シモツケソウ, ジャガイモ, シャクヤク (芍薬), シャジン (沙参), ジャノヒゲ (麦門冬), ジュズダマ, シュロ果実, ショウガ (生姜), ショウブ (菖蒲, 菖蒲根), ショズク果実, シラカシ種子, シロゴチョウの種子, シロトウアズキ (鶏骨草), シロバナナリス (ニオイナリス), シロバナツタの花, シロミナンテン (南天実), シンコナサクシルブラ, ジンチョウゲ (瑞香, 瑞香花, 沈丁花), シンナモン, スイカ (西瓜), スイカズラ (金銀花, 忍冬), スイバ (酸模), スイムベリー果実, ステビア, ストロベリー果実, スズサイコ (徐長卿), スギナ (間蒨), スベリヒユ (馬齒けん, 馬齒けん子), スモモ果実, セイヨウアカマツの球果, セイヨウカラマツ, セイヨウキズタ, セイヨウグルミ, セイヨウサンザシ, セイヨウタンボボ, セイヨウトチノキ (マロニエ), セイヨウナシ果実, セイヨウナツユキソウ, セイヨウニワトコ (エルダー), セイヨウネズ (ジュニバー・杜松), セイヨウノコギリソウ (ミルフォイル), セイヨウバラ, セイヨウフウチョウボク, セイヨウヤドリギ, セイヨウハッカ・セイヨウヤマハッカ, セイヨウワサビ, セキショウ (石菖根), ゼニアオイ, ヒロハセネガ, セネガ, セリ, セロリ, センキュウ (川キュウ), センダン, センブリ (当薬), センナ果実又は葉, センニンソウ (大蓼), ソウカ (草果), ソバ種実, ソメモノイモ, ダイオウ (大黃), 大根, 大豆, ダイダイ (橙皮, 枳実), タカトウダイ (大戟), タカワラビ (狗脊), ダークスイートチェリー果実, タチアオイ, タチジャコウソウ (タイム, 百里香), タチヤナギ, タマリンド種子, タマネギ, タムシバ (辛夷), タラノキ又はその根皮, タンジン (丹参), タンボボ (蒲公英) 又はシロバナタンボボ・モウコタンボボ, ダンマル, チェリー果実, チガヤ又はその根 (茅根), チクセツニンジン (竹節人參), チコリ, チョウセンゴミシ (五味子), チョウセンダイオウ (大黃), チョウセンニレ (蕪夷), チョウセンニンジン (人參), チョウセンヨモギ (艾葉), チョレイマイタケ (猪苓), ツキミソウ, ツクリタケ (マッシュルーム), ツバキ, ツボクサ, ツメクサ (漆姑草), ツユクサ (鴨跖草), ツルアズキ (赤小豆), ツルドクダミ (何首烏), ツルナ (薯杏), ツルニンジン (四葉参), ツワブキ, デイコ, テウチグルミ, デュベリー果実, テングサ, テンチャ (甜茶), テンダイウヤク (烏藥), トウガ (冬瓜子), トウガラシ (番椒), トウキ (当帰), トウキンセンカ (マリーゴールド), トウモロコシ又はトウモロコシ毛 (南蜜



毛), トウネズミモチ(女貞子), トウリンドウ(竜胆), トクサ(木賊), ドクダミ(十葉), トコン(吐根), トシシ・マメダオシ・ネナシカズラ, トチュウ(杜仲, 杜仲葉), トネリコ(桑皮), トマト, トラガント, トリアカンソス種子, トルメンチラ, ドロノキ, トロロアオイ, ナイゼリアベリー果実, ナガイモ・ヤマノイモ(山薬), ナギイカダ(ブッチャーブルーム), ナギナタコウジュ, ナズナ, ナタネ, ナツミカン, ナツメ(大棗), ナニワイバラ(金桜子), ナメコ, ナルコユリ(黄精), ナンキンマメ(落花生), ナンテン(南天実), ニガキ(苦木), ニガヨモギ(苦艾), ニクズク, ケイ・ニッケイ(桂皮)・ケイシ(桂枝), ニラ(韭菜), ニワトコ(接骨木)の果実・花又は茎葉, ニンニク(大蒜), ヌルデ(五倍子), ネギ, ノアザミ(大薊), ノイバラ(當実), ノコギリソウ, ノダケ(前胡), ノバラ, ノモモ, バーム, バイナップル果実, ハイビスカス(ブッソウゲ, フウリンブッソウゲ, ローゼル), ハカマウラボシ(骨碎補), ハクセン(白癪皮), ハクルベリー果実, ハコベ(繁縷), ハシバミ(榛子), ハシリドコロ(ロート根), バジル, ハス(蓮, 蓮肉, 蓮子), パセリ(オランダゼリ), ハダカムギ, パタタ, ハチク・マダケ(竹筴), パチョリー, ハッカ(薄荷, 薄荷葉), ハトムギ(ヨクイニン), ハナスゲ(知母), パナナ, ハナハッカ, ハナビシ(シツリシ, シシツリ), バニラビーンズ, ババイヤ, ハハコグサ(鼠麴草), ハブ草, バブリカ, ハマゴウ・ミツバハマゴウ(蔓荊子), ハマスゲ(香附子), ハマビシ(シツリ子), ハマナス(マイカイ花), ハマボウフウ(浜防風), ハマメリス, バラ(薔薇), ハラタケ(ハラタケ, シロオハラタケ, ウスキモリノカサ), バリエタリア, ハルニレ(榆皮, 榆白皮, 榆葉), バンノキ, ヒオウギ(射干), ヒカゲツルニンジン(党参), ビーカンナツ, ヒガンバナ(石蒜, 蔓珠沙華), ヒキオコシ(延命草), ヒシ(菱実), ビスタチオ, ビート, ヒトツバ(石葦), ヒトツバエニシダ, ヒナタイノコズチ(牛膝), ヒノキ, ヒバ, ヒマシ, ヒマウリ, ビーマン, ヒメガマ(香蒲), ヒメマツタケ(カワリハラタケ, ヒロマツタケ), ビメンタ果実, ビャクシ, ビャッキウ, ヒユ果実, ヒロウドアオイ, ヒロハオキナグサ(白頭翁), ヒワ(枇杷, 枇杷葉), ビンロウ(大服皮, 檳榔子), フウトウカズラ(南藤), フキ, フキタンボボ(款冬花, 款冬葉), フジバカマ(蘭草), フジマメ(扁豆), ブドウ果実又は果皮・種子・葉, ブナ, フユムシナツクサタケ(冬虫夏草), ブラジルカンゾウ, ブラジルニンジン, ブラックカーラント果実, ブラックベリー, ブラム果実, フルセラリア, ブルーベリー(セイヨウヒメスノキ), ブルーン, ブロンドサイリウム, ブンドウ(緑豆), ヘチマ, ベニバナ(紅花), ヘネケン, ベラドンナ, ベリー果実, ベルビアンバーグ, ボイセンベリー果実, ボウフウ(防風), ホウレンソウ, ホオズキ(登呂根), ホオノキ(和厚朴, 朴), ボケ(木瓜), ホソバナオケラ(蒼朮), ホソババレンギク, ボダイジュ(菩醍

樹), ボタン(牡丹, 牡丹皮), ホップ, ホホバ, ホワートルベリー果実, ホンシメジ, ホンオニク(肉じゅぎ・大芸), マイズルテンナンショウ(天南星), マイタケ(舞茸), マオウ(麻黄), マカデミアナツ, マクリ(海人草), マグワ(桑白皮, 桑葉), マグノリア・スプレングリ, マタタビ(木天蓼), マツカサ, 松葉, マツホド(茯苓), マヨラム(ハナハッカ), マルバノジャジン(苦参), マルベリー果実, マルメロ, マンゴー, マンゴスチン, マンシュウグルミ, マンダリン果実, マンネンタケ(靈芝), ミカン属植物果実(枳実), ミシマサイコ(柴胡), ミゾカクシ(半边蓮), ミソハギ(千屈菜), ミツガシワ, ミツバ, ミドリハッカ, ミモザ, ミョウガ, ミラクルフルーツ果実, ミルラ, ミロバラシ, ムクゲ(木槿), ムクノキ, ムクロジ, ムラサキ(紫根), ムラサキシキブ・オオムラサキシキブ(紫珠), ムラサキトウモロコシ, メハジキ(益母草), メボウギ, メラロイカ, メリッサ, メリロート, メロン果実, モウコヨモギ, モウソウチク, モッコウ(木香), モミジバダイオウ, モモの葉(桃葉)・果実・種(桃仁), モヤシ, モレロチェリー果実, モロヘイヤ(黄麻), ヤカワムラサキイモ, ヤクチ(益智), ヤグルマソウ(ヤグルマギク), ヤグルマハッカ, ヤシャブシ(矢車)ノヒメヤシャブシノオオバヤシャブシの果実・果皮・果穂, ヤチヤナギ, ヤツデ(八角金盤), ヤドリギ(柳寄生), ヤナギ(カワヤナギ, タチヤナギ, シダレヤナギ, アカメヤナギ, ネコヤナギ, イヌコリヤナギ, キヌヤナギ, コリヤナギ, ウンリウヤナギ, ミヤマヤナギ, ヤマヤナギ, オオバヤナギ, タイリクキヌヤナギ, キツネヤナギ, ドロノキ), ヤナギタデの葉, ヤブガラシ, ヤブコウジ(紫金牛), ヤマゴボウ(商陸), ヤマハノキ(山榛), ヤマモモ(楊梅皮), ヤマヨモギ, ユーカリ, ユキノシタ(虎耳草), ユッカ・フレビフォリア, ユズ果実, ユリ, ヨロイグサ, ヨモギ(艾葉), ライム果実, ライムギ, ラカンカ果実, ラズベリー葉・果実, ラベンダー, リュウガン(竜眼肉), リュウゼツラン(アオノリュウゼツラン, フクリンリュウゼツラン), リョクチャ(緑茶), リンゴ果実, リンドウ, ルバス・スアビシムス(甜涼), レイシ(荔枝, 荔枝核), レタス(チシャ), レッドカーラント果実, レモン果実, レモングラス, レンギョウ(連翹: レンギョウ, シナレンギョウ), レンゲソウ, ロウヤシ, ロコン(ヨシ: 蘆根), ローガンベリー果実, ローズマリー(マンネンロウ), ローズヒップ(ノバラ), ワサビ, ワレモコウ(地榆)などが挙げられる。

【0033】又、その他の海水類、例えば、海水塩、海水乾燥物、死海又は大西洋又は太平洋の海より得た無機塩(塩化ナトリウム、塩化マグネシウム、塩化カリウムなど)、海泥・泥(ファンゴ)類、例えば、イタリアファンゴ、ドイツファンゴ、アイフェルファンゴ、フライブルグファンゴなどの各地の海泥又は泥(含有成分: 二酸化珪素、二酸化チタン、酸化アルミニウム、酸化鉄、

酸化マンガン、酸化ナトリウム、酸化カリウム、酸化マグネシウム、酸化カルシウム、酸化ストロンチウム、ナトリウム、カリウム、マグネシウム、カルシウム、クロム、鉄、銅、ニッケル、亜鉛、鉛、マンガン、ヒ素、水など)、

【0034】海藻類としては、海藻〔緑藻類：クロレラ・ブルガリス、クロレラ・ヒレノイドサ、クロレラ・エリブソイディア、アオノリ（ウスバアオノリ、スジアオノリ、ヒラアオノリ、ボウアオノリ、ホソエダアオノリ）〕、海藻〔褐藻類：コンブ（マコンブ、リシリコンブ、ホソメコンブ、ミツイシコンブ）、ワカメ、ヒロメ、アオワカメ、ジャイアントケルブ（マクロシスティス・ピリフェラ、マクロシスティス・インテグリフォリア、ネオシスティス・ルエトケアーナ）、ヒジキ、ヒバマタ〕、海藻〔紅藻類：ヒジリメン、マクサ（ Denggサ）、ヒラクサ、オニクサ、オバクサ、カタオバクサ、ヤタバグサ、ユイキリ、シマ Dengg サ、トサカノリ、トゲキリンザイ、アマクサキリンザイ、キリンザイ、ビャクシンキリンザイ、ツノマタ、オオバツノマタ、トチャカ（ヤハズツノマタ）、エゾツノマタ、トゲツノマタ、ヒラコトジ、コトジツノマタ、スギノリ、シキンノリ、カイノリ、イボツノマタ、ヤレウスバノリ、カギウスバノリ、スジウスバノリ、ハイウスバノリ、アカモシノリ〕などが代表的なものとして挙げられる。

【0035】又、その他の藻類、例えば、緑藻類（クラミドモナス属：クラミドモナス、アカユキモ、ドゥナリエラ属：ドゥナリエラ、クロロコッカス属：クロロコッカス、クワノミモ属：クワノミモ、ボルボックス属：オオヒゲマワリ、ボルボックス、バルメラ属、ヨツメモ属、アオミドロ属：ヒザオリ、アオミドロ、ツルギミドロ属、ヒビミドロ属：ヒビミドロ、アオサ属：アナアオサ、アミアオサ、ナガアオサ、カワノリ属：カワノリ、フリッチエラ属、シオグサ属：オオシオグサ、アサミドリシオグサ、カワシオグサ、マリモ、バロニア属：タマゴバロニア、タマバロニア、マガタマモ属：マガタマモ、イワツタ属：フサイワツタ、スリコギツタ、ヘライワツタ、クロキツタ、ハネモ属、ミル属：ミル、クロミル、サキブチミル、ナガミル、ヒラミル、カサノリ属：カサノリ、ジュズモ属：フトジュズモ、タマジュズモ、ミゾジュズモ、ミカツキモ属、コレカエテ属、ツツミモ属、キッコウグサ属：キッコウグサ、ヒトエグサ属：ヒトエグサ、ヒロハノヒトエグサ、ウスヒトエグサ、モツキヒトエ、サヤミドロ属、クンショウモ属、スミレモ属：スミレモ、ホシミドロ属、フシナシミドロ属など）。

【0036】藍藻類（スイゼンジノリ属：スイゼンジノリ、アオコ属、ネンジュモ属：カワタケ、イシクラゲ、ハッサイ、ユレモ属、ラセンモ（スピリリナ）属：スピリリナ、トリコデスミウム（アイアカシオ）属など）。

【0037】褐藻類（ヒラエラ属：ヒラエラ、シオミド

ロ属：ナガミシオミドロ、イソブドウ属：イソブドウ、イソガワラ属：イソガワラ、クロガシラ属：ガンセンクロガシラ、カシラザキ属：カシラザキ、ムチモ属：ムチモ、ヒラムチモ、ケベリグサ、アミジグサ属：アミジグサ、サキヒロアミジ、サナダグサ属：サナダグサ、フクリンアミジ、コモングサ属：コモングサ、ヤハズグサ属：エゾヤハズ、ヤハズグサ、ウラボシヤハズ、ジガミグサ属：ジガミグサ、ウミウチワ属：ウミウチワ、コナウミウチワ、アカバウミウチワ、ナミマクラ属：ヒルナミマクラ、ソメワケグサ属：ソメワケグサ、ナバリモ属：ナバリモ、チャソウメン属：モツキチャソウメン、マツモ属：マツモ、ナガマツモ属：ナガマツモ、オキナワモズク属：オキナワモズク、ニセフトモズク属：ニセフトモズク、フトモズク属：フトモズク、イシモズク属：イシモズク、クロモ属：クロモ、ニセモズク属：ニセモズク、モズク属：モズク、イシゲ属：イシゲ、イロロ、イチメガサ属：イチメガサ、ケヤリ属：ケヤリ、ウミボッス属：ウミボッス、ウルシグサ属：ウルシグサ、ケウルシグサ、タバコグサ、コンブモドキ属：コンブモドキ、ハバモドキ属：ハバモドキ、ハバノリ属：ハバノリ、セイヨウハバノリ属：セイヨウハバノリ、コモンブクロ属：コモンブクロ、エゾブクロ属：エゾブクロ、フクロノリ属：フクロノリ、ワタモ、チシマフクロノリ属：チシマフクロノリ、カゴメノリ属：カゴメノリ、ムラリドリ属：ムラチドリ、サメズグサ属：サメズグサ、イワヒゲ属：イワヒゲ、ヨコジマノリ属：ヨコジマノリ、カヤモノリ属：カヤモノリ、ウイキョウモ属：ウイキョウモ、ツルモ属：ツルモ、アナメ属：アナメ、スジメ属：スジメ、ミスジコンブ属：ミスジコンブ、アツバミスジコンブ、コンブ属：ガツガラコンブ、カキジマコンブ、オニコンブ、ゴヘイコンブ、ナガコンブ、エンドウコンブ、オオチヂミコンブ、トロロコンブ属：トロロコンブ、アントクメ属：アントクメ、カジメ属：カジメ、ツルアラメ、クロメ、キクイシコンブ属：キクイシコンブ、ネジレコンブ属：ネジレコンブ、クロシオメ属：クロシオメ、ネコアシコンブ属：ネコアシコンブ、アラメ属：アラメ、アイヌワカメ属：アイヌワカメ、チガイソ、オニワカメエゾイシゲ属：エゾイシゲ、ヤバネモク属：ヤバネモク、ラッパモク属：ラッパモク、ジョロモク属：ウガノモク、ジョロモク、ヒエモク、ホンダワラ属：タマナシモク、イソモク、ナガシマモク、アカモク、シダモク、ホンダワラ、ネジモク、ナラサモ、マメタワラ、タツクリ、ヤツマタモク、ウミトラノオ、オオバモク、フシズシモク、ハハキモク、トゲモク、ヨレモク、ノコギリモク、オオバノコギリモク、スギモク属：スギモク、ウキモ属：オオウキモ、ブルウキモ属：ブルウキモ、カヤモノリ属：カヤモノリなど）。

【0038】紅藻類（ウシケノリ属：ウシケノリ、フノリウシケ、アマノリ属：アサクサノリ、ズサビノリ、ウップルイノリ、オニアマノリ、タサ、フィリタサ、ベ

ニタサ、ロドコルトン属：ミルノベニ、アケボノモズク  
 属：アケボノモズク、コナハダ属：ハイコナハダ、ヨゴ  
 レコナハダ、アオコナハダ、ウミゾウメン属：ウミゾウ  
 メン、ツクモノリ、カモガシラノリ、ベニモズク属：ベ  
 ニモズク、ホソベニモズク、カサマツ属：カサマツ、フ  
 サノリ属：フサノリ、ニセフサノリ属：ニセフサノリ、  
 ソデガラミ属：ソデガラミ、ガラガラ属：ガラガラ、ヒ  
 ラガラガラ、ヒロハタマイタダキ属：ヒロハタマイタダ  
 キ、タマイタダキ属：タマイタダキ、カギケノリ属：カ  
 ギノリ、カギケノリ、テングサ属：ヒメテングサ、ハイ  
 テングサ、オオブサ、ナンブグサ、コヒラ、ヨヒラ、キ  
 ヌクサ、ヒビロウド属：ヒビロウド、ヒメヒビロウド、  
 イソムメモドキ属：イソムメモドキ、ミチガエソウ属：  
 ミチガエソウ、リュウモンソウ属：リュウモンソウ、ヘ  
 ラリュウモン、ニセカレキグサ属：ニセカレキグサ、オ  
 キツバラ属：オオブサオキツバラ、アカバ属：アカバ、マ  
 ルバアカバ、ナミノハナ属：ホソバナミノハナ、ナミノ  
 ハナ、サンゴモドキ属：ガラガラモドキ、シオグサゴロ  
 モ属：シオグサゴロモ、イワノカワ属：エツキイワノカ  
 ワ、カインカワ属：カインカワ、カニノテ属：カニノ  
 テ、サンゴモ属：サンゴモ、ムカデノリ属：ムカデノ  
 リ、スジムカデ、カタノリ、ヒラムカデ、キョウノヒ  
 モ、サクランノリ、ニクムカデ、タンバノリ、ツルツル、  
 イソノハナ属：ヌラクサ、クロヌラクサ、オオムカデノ  
 リ、ヒラキントキ属：ヒラキントキ、マタボウ属：マタ  
 ボウ、キントキ属：チャボキントキ、キントキ、マツノ  
 リ、コメノリ、トサカマツ、ヒトツマツ、カクレイト  
 属：オオブキントキ、イトフノリ属：イトフノリ、ナガ  
 オバネ属：ナガオバネ、フノリ属：ハナフノリ、フクロ  
 フノリ、マフノリ、カレキグサ属：カレキグサ、トサカ  
 モドキ属：ホソバノトサカモドキ、ヒロハノトサカモド  
 キ、ヤツデガタトサカモドキ、クロトサカモドキ、ネザ  
 シノトサカモドキ、キヌハダ属：キヌハダ、エゾトサカ  
 属：エゾトサカ、ツカサノリ属：エナシカリメニア、オ  
 オツカサノリ、ハナガタカリメニア、ホウノオ属：ホウ  
 ノオ、ヒカゲノイト属：ヒカゲノイト、ウスギヌ、ニク  
 ホウノオ属：ニクホウノオ、ベニスナゴ属：ベニスナ  
 ゴ、ススカケベニ属：ススカケベニ、オカムラグサ属：  
 ヤマダグサ、ミリン属：ミリン、ホソバミリン、トサカ  
 ノリ属：キクトサカ、エゾナメシ属：エゾナメシ、イ  
 ソモッカ属：イソモッカ、ユカリ属：ユカリ、ホソユカ  
 リ、イバラノリ属：イバラノリ、サイダイバラ、タチイ  
 バラ、カギイバラノリ、キジノオ属：キジノオ、イソダ  
 ンツウ属：イソダンツウ、アツバノリ属：アツバノリ、  
 オゴノリ属：オゴノリ、ツルシラモ、シラモ、オオオゴ  
 ノリ、ミゾオコノリ、カバノリ、テングサモドキ属：ハ  
 チジョウテングサモドキ、フシクレノリ属：フシクレノ  
 リ、ナミイワタケ属：ナミイワタケ、カイメンソウ属：  
 カイメンソウ、オキツノリ属：オキツノリ、サイミ属：  
 イタニグサ、サイミ、ハリガネ、ハスジグサ属：ハスジ

グサ、スギノリ属：イカノアシ、ホソイボノリ、ノボノ  
 リ、クロハギンナンソウ属：クロハギンナンソウ、アカ  
 バギンナンソウ属：アカバギンナンソウ、ヒシブクロ  
 属：ヒシブクロ、マダラグサ属：トゲマダラ、エツキマ  
 ダラ、タオヤギソウ属：タオヤギソウ、ハナサクラ、フ  
 クロツナギ属：フクロツナギ、スジコノリ、ハナノエダ  
 属：ハナノエダ、ヒラタオヤギ属：ヒラタオヤギ、ダル  
 ス属：ダルス、マサゴシバリ、アナダルス、ウエバグサ  
 属：ウエバグサ、ベニフクロノリ属：ベニフクロノリ、  
 フシツナギ属：フシツナギ、ヒメフシツナギ、ヒロハフ  
 シツナギ、ワツナギソウ属：ヒラワツナギソウ、ウスバ  
 ワツナギソウ、イギス属：イギス、ケイギス、ハリイギ  
 ス、ハネイギス、アミクサ、エゴノリ属：エゴノリ、フ  
 トイギス、サエダ属：サエダ、チリモシジ属：チリモシ  
 ジ、コノハノリ科：ハブタエノリ、コノハノリ、スズシ  
 ロノリ、ウスベニ属：ウスベニ、ハスジギヌ属：ハスジ  
 ギヌ、ナガコノハノリ属：ナガコノハノリ、スジギヌ  
 属：スジギヌ、アツバスジギヌ、ハイウスバノリ属：カ  
 ギウスバノリ、ヤレウスバノリ、スジウスバノリ、ハイ  
 ウスバノリ、ウスバノリモドキ属：ウスバノリモドキ、  
 アヤニシキ属：アヤニシキ、アヤギヌ属：アヤギヌ、ダ  
 ジア属：エナシダジア、シマダジア属：イソハギ、シマ  
 ダジア、ダジモドキ属：ダジモドキ、イトグサ属：モ  
 ロイトグサ、フトイグサ、マクリ属：マクリ、ヤナギノ  
 リ属：ハナヤナギ、ユナ、ヤナギノリ、モツレユナ、ベ  
 ニヤナギコリ、モサヤナギ、ササバヤナギノリ、ソゾ  
 属：クロソゾ、コブソゾ、ハネソゾ、ソゾノハナ、ハネ  
 グサ属：ハネグサ、ケハネグサ、コザネモ属：コザネ  
 モ、イソムラサキ、ホソコザネモ、ヒメゴケ属：ヒメゴ  
 ケ、クロヒメゴケ、ヒオドシグ属：キクヒオドシ、ヒオ  
 ドシグサ、ウスバヒオドシ、アイソメグサ属：アイソメ  
 グサ、スジナシグサ属：スジナシグサ、イソバショウ  
 属：イソバショウ、フジマツモ属：フジマツモ、ノコギ  
 リヒバ属：ハケサキノコギリヒバ、カワモズク属：カワ  
 モズク、アオカワモズク、ヒメカワモズク、イデユコゴ  
 メ属：イデユコゴメ、オキチモズク属：オキチモズク、  
 イトグサ属、チノリモ属：チノリモ、チスジノリ属：チ  
 スジノリなど。

【0039】車軸藻類（シャジクモ属、シラタマモ属、  
 ホシツリモ属：ホシツリモ、リクノタムヌス属、フラス  
 コモ属：ヒメフラスコモ、チャボフラスコモ、トリペラ  
 属など）、黄色藻類（ヒカリモ属：ヒカリモなど）な  
 ど。

【0040】又、動物系原料由来の素材としては、鶏冠  
 抽出物、牛・人の胎盤抽出物、豚・牛の胃や十二指腸或  
 いは腸の抽出物若しくはその分解物、豚・牛の脾臓の抽  
 出物若しくはその分解物、豚・牛の脳組織の抽出物、水  
 溶性コラーゲン、アシル化コラーゲン等のコラーゲン誘  
 導体、コラーゲン加水分解物、エラスチン、エラスチン  
 加水分解物、水溶性エラスチン誘導体、ケラチン及びそ

の分解物又はそれらの誘導体、シルク蛋白及びその分解物又はそれらの誘導体、豚・牛血球蛋白分解物（グロビンペプチド）、豚・牛ヘモグロビン分解物（ヘミン、ヘマチン、ヘム、プロトヘム、ヘム鉄等）、牛乳、カゼイン及びその分解物又はそれらの誘導体、脱脂粉乳及びその分解物又はそれらの誘導体、ラクトフェリン又はその分解物、鶏卵成分、魚肉分解物など。

【0041】(14)微生物培養代謝物

酵母代謝物、酵母菌抽出エキス、米発酵エキス、米糠発酵エキス、ユーグレナ抽出物、生乳・脱脂粉乳の乳酸発酵物やトレハロース又はその誘導体など。

【0042】(15) $\alpha$ -ヒドロキシ酸

グリコール酸、クエン酸、リンゴ酸、酒石酸、乳酸など。

【0043】(16)無機顔料

無水ケイ酸、ケイ酸マグネシウム、タルク、カオリン、ベントナイト、マイカ、雲母チタン、オキシ塩化ビスマス、酸化ジルコニウム、酸化マグネシウム、酸化亜鉛、酸化チタン、炭酸カルシウム、炭酸マグネシウム、黄酸化鉄、ベンガラ、黒酸化鉄、グンジョウ、酸化クロム、水酸化クロム、カーボンブラック、カラミンなど。

【0044】(17)紫外線吸収／遮断剤

p-アミノ安息香酸誘導体、サルチル酸誘導体、アントラニル酸誘導体、クマリン誘導体、アミノ酸系化合物、ベンゾトリアゾール誘導体、テトラゾール誘導体、イミダゾリン誘導体、ビリミジン誘導体、ジオキサン誘導体、カンファー誘導体、フラン誘導体、ピロン誘導体、核酸誘導体、アラントイン誘導体、ニコチン酸誘導体、ビタミンB6誘導体、ベンゾフェノン類、オキシベンゾン、アルブチン、グアイアズレン、シコニン、バイカリン、バイカレイン、ベルベリン、ネオヘリオパン、ウロカニン酸誘導体、エスカロール、酸化亜鉛、タルク、カオリンなど。

【0045】(18)美白剤

p-アミノ安息香酸誘導体、サルチル酸誘導体、アントラニル酸誘導体、クマリン誘導体、アミノ酸系化合物、ベンゾトリアゾール誘導体、テトラゾール誘導体、イミダゾリン誘導体、ビリミジン誘導体、ジオキサン誘導体、カンファー誘導体、フラン誘導体、ピロン誘導体、核酸誘導体、アラントイン誘導体、ニコチン酸誘導体、ビタミンB6誘導体、オキシベンゾン、ベンゾフェノン、アルブチン、グアイアズレン、シコニン、バイカリン、バイカレイン、ベルベリンなど。

【0046】(19)Tyrosinase活性阻害剤

アスコルビン酸及びその誘導体、ハイドロキノン及びその配糖体、コウジ酸及びその誘導体、トコフェロール及びその誘導体、N-アセチルチロシン及びその誘導体、グルタチオン、過酸化水素、過酸化亜鉛、ハイドロキノンモノベンジルエーテル、胎盤エキス、シルク抽出物、植物エキス（クワ、トウキ、ワレモコウ、クララ、ヨモ

ぎ、スイカズラ、キハダ、ドクダミ、マツホド、ハトムギ、オドリコソウ、ホップ、サンザシ、ユーカリ、セイヨウノコギリソウ、アルテア、ケイヒ、マンケイシ、ハマメリス、ヤマグワ、延命草、桔梗、トシシ、続随子、射干、麻黄、センキュウ、ドクカツ、サイコ、ボウフウ、ハマボウフウ、オウゴン、牡丹皮、シャクヤク、ゲンノショウコ、葛根、甘草、五倍子、アロエ、ショウマ、紅花、緑茶、紅茶、阿仙薬など）。

【0047】(20)メラニン色素還元／分解

ハイドロキノンモノベンジルエーテル、フェニル水銀ヘキサクロロフェン、酸化第二水銀、塩化第一水銀、過酸化水素水、過酸化亜鉛など。

【0048】(21)ターンオーバーの促進作用／細胞賦活

ハイドロキノン、乳酸菌エキス、胎盤エキス、霊芝エキス、ビタミンA、ビタミンE、アラントイン、脾臓エキス、胸腺エキス、酵母エキス、発酵乳エキス、植物エキス（アロエ、オウゴン、スギナ、ゲンチアナ、ゴボウ、シコン、ニンジン、ハマメリス、ホップ、ヨクイニン、オドリコソウ、センブリ、トウキ、トウキンセンカ、アマチャ、オドリコソウ、キュウリ、タチジャコウソウ、ローズマリー、バセリなど）。

【0049】(22)収斂剤

コハク酸、アラントイン、塩化亜鉛、硫酸亜鉛、酸化亜鉛、カラミン、p-フェノールスルホン酸亜鉛、硫酸アルミニウムカリウム、レゾルシン、塩化第二鉄、タンニン酸（カテキン化合物を含む）など。

【0050】(23)活性酸素消去剤

SOD、カタラーゼ、グルタチオンパーオキシダーゼなど。

【0051】(24)抗酸化剤

アスコルビン酸及びその塩、ステアリン酸エステル、トコフェロール及びそのエステル誘導体、ノルジヒドログアセレン酸、ブチルヒドロキシトルエン（BHT）、ブチルヒドロキシアニソール（BHA）、ヒドロキシチロソール、バラヒドロキシアニソール、没食子酸プロピル、セサモール、セサモリン、ゴシボールなど。

【0052】(25)過酸化脂質生成抑制剤

$\beta$ -カロテン、植物エキス（ゴマ培養細胞、アマチャ、オドリコソウ、ハマメリス、チョウジ、メリッサ、エンメイソウ、シラカバ、セージ、ローズマリー、南天実、キナ、エイジツ、イチョウ、緑茶など）。

【0053】(26)抗炎症剤

イクタモール、インドメタシン、カオリン、サリチル酸、サリチル酸ナトリウム、サリチル酸メチル、アセチルサリチル酸、塩酸ジフェンヒドラミン、d又はdl-カンフル、ヒドロコルチゾン、グアイアズレン、カマズレン、マレイン酸クロルフェニラミン、グリチルリチン酸及びその塩、グリチルレチン酸及びその塩、甘草エキス成分、シコンエキス、エイジツエキスなど。

【0054】(27)殺菌・消毒薬

アクリノール、イオウ、塩化ベンザルコニウム、塩化ベンゼトニウム、塩化メチルロザニリン、クレゾール、グルコン酸カルシウム、グルコン酸クロルヘキシジン、スルファミン、マーキュロクロム、ラクトフェリン又はその加水分解物、塩化アルキルジアミノエチルグリシン液、イソプロピルメチルフェノール、トリクロサン、クジンなど。

【0055】(28)保湿剤

グリセリン、プロピレングリコール、1,3-ブチレングリコール、ヒアルロン酸及びその塩、ポリエチレングリコール、コンドロイチン硫酸及びその塩、水溶性キチン或いはキトサン誘導体、ピロリドンカルボン酸及びその塩、乳酸ナトリウム、ミニササニシキエキスなど。

【0056】(29)頭髮用剤

二硫化セレン、臭化アルキルイソキノリニウム液、ジシクビリチオン、ピフェナミン、チアントール、カスターチンキ、ショウキョウチンキ、トウガラシチンキ、塩酸キニーネ、強アンモニア水、臭素酸カリウム、臭素酸ナトリウム、チオグリコール酸など。

【0057】(30)抗アンドロゲン剤

卵胞ホルモン(エストロン、エストラジオール、エチニルエストラジオールなど)、イソフラボン、オキシンドロンなど。

【0058】(31)末梢血管血流促進剤

ビタミンE及びその誘導体、センブリエキス、ニンニクエキス、人参エキス、アロエエキス、ゲンチアナエキス、トウキエキス、セファランチン、塩化カルプロニウム、ミノキシジルなど。

【0059】(32)局所刺激剤

トウガラシチンキ、ノニル酸バニルアミド、カンタリスチンキ、ショウキョウチンキ、ハッカ油、1-メントール、カンフル、ニコチン酸ベンジルなど。

【0060】(33)代謝活性剤

感光素301号、ヒノキチオール、バントテン酸及びその誘導体、アラントイン、胎盤エキス、ピオチン、ベンタデカン酸グリセリドなど。

【0061】(34)抗脂漏剤

ビリドキシン及びその誘導体、イオウ、ビタミンB6など。

【0062】(35)角質溶解剤

レゾルシン、サリチル酸、乳酸など。

【0063】(36)酸化剤

過酸化水素水、過硫酸ナトリウム、過硫酸アンモニウム、過ホウ酸ナトリウム、過酸化尿素、過炭酸ナトリウム、過酸化トリポリリン酸ナトリウム、臭素酸ナトリウム、臭素酸カリウム、過酸化ピロリン酸ナトリウム、過酸化オルソリン酸ナトリウム、ケイ酸ナトリウム過酸化水素付加体、硫酸ナトリウム塩化ナトリウム過酸化水素付加体、 $\beta$ -チロシナーゼ酵素液、マッシュルーム抽出液など。

【0064】(37)除毛剤

硫酸ストロンチウム、硫化ナトリウム、硫化バリウム、硫化カルシウムなどの無機系還元剤、チオグリコール酸又はその塩類(チオグリコール酸カルシウム、チオグリコール酸ナトリウム、チオグリコール酸リチウム、チオグリコール酸マグネシウム、チオグリコール酸ストロンチウムなど)。

【0065】(38)毛髪膨潤剤

エタノールアミン、尿素、グアニジンなど。

【0066】(39)染料剤

5-アミノオルトクレゾール、2-アミノ-4-ニトロフェノール、2-アミノ-5-ニトロフェノール、1-アミノ-4-メチルアミノアントラキノン、3,3'-イミノジフェノール、塩酸2,4-ジアミノフェノキシエタノール、塩酸2,4-ジアミノフェノール、塩酸トルエン-2,5-ジアミン、塩酸ニトロバラフェニレンジアミン、塩酸バラフェニレンジアミン、塩酸N-フェニルバラフェニレンジアミン、塩酸メタフェニレンジアミン、オルトアミノフェノール、酢酸N-フェニルバラフェニレンジアミン、1,4-ジアミノアントラキノン、2,6-ジアミノピリジン、1,5-ジヒドロキシナフタレン、トルエン-2,5-ジアミン、トルエン-3,4-ジアミン、ニトロバラフェニレンジアミン、バラアミノフェノール、バラニトロオルトフェニレンジアミン、バラフェニレンジアミン、バラメチルアミノフェノール、ピクラミン酸、ピクラミン酸ナトリウム、N,N'-N-ビス(4-アミノフェニル)-2,5-ジアミノ-1,4-キノンジイミン、5-(2-ヒドロキシエチルアミノ)-2-メチルフェノール、N-フェニルバラフェニレンジアミン、メタアミノフェノール、メタフェニレンジアミン、硫酸5-アミノオルトクレゾール、硫酸2-アミノ-5-ニトロフェノール、硫酸オルトアミノフェノール、硫酸オルトクロルバラフェニレンジアミン、硫酸4,4'-ジアミノジフェニルアミン、硫酸2,4-ジアミノフェノール、硫酸トルエン-2,5-ジアミン、硫酸ニトロバラフェニレンジアミン、硫酸バラアミノフェノール、硫酸バラニトロオルトフェニレンジアミン、硫酸バラニトロメタフェニレンジアミン、硫酸バラフェニレンジアミン、硫酸バラメチルアミノフェノール、硫酸メタアミノフェノール、硫酸メタフェニレンジアミン、カテコール、ジフェニルアミン、 $\alpha$ -ナフトール、ヒドロキノン、ピロガロール、フロロログルシン、没食子酸、レゾルシン、タンニン酸、2-ヒドロキシ-5-ニトロ-2',4'-ジアミノアゾベンゾゼン-5'-スルホン酸ナトリウム、ヘマテインなど。

【0067】(40)香料

ジャコウ、シベット、カストリウム、アンバーgrisなどの天然動物性香料、アニス精油、アングリカ精油、イランイラン精油、イリス精油、ウイキョウ精油、オレン

シ精油、カナンガ精油、カラウエー精油、カルダモン精油、グアヤクウッド精油、クミン精油、黒文字精油、ケイ皮精油、シンナモン精油、ゲラニウム精油、コバイバルサム精油、コリアンデル精油、シソ精油、シダーウッド精油、シトロネラ精油、ジャスミン精油、ジンジャーグラス精油、杉精油、スベアミント精油、西洋ハッカ精油、大茴香精油、チュベローズ精油、丁字精油、橙花精油、冬緑精油、トルバルサム精油、バチュリー精油、バラ精油、バルマローザ精油、桧精油、ヒバ精油、白檀精油、プチグレン精油、ベイ精油、ベチバ精油、ベルガモット精油、ペルーバルサム精油、ボアドローズ精油、芳樟精油、マンダリン精油、ユーカリ精油、ライム精油、ラベンダー精油、リナロエ精油、レモングラス精油、レモン精油、ローズマリー精油、和種ハッカ精油などの植物性香料、その他合成香料など。

#### 【0068】(41)色素・着色剤

赤キャベツ色素、赤米色素、アカネ色素、アナトー色素、イカスミ色素、ウコン色素、エンジュ色素、オキアミ色素、柿色素、カラメル、金、銀、クチナシ色素、コーン色素、タマネギ色素、タマリンド色素、スピルリナ色素、ソバ全草色素、チェリー色素、海苔色素、ハイビスカス色素、ブドウ果汁色素、マリーゴールド色素、紫イモ色素、紫ヤマモイモ色素、ラック色素、ルチンなど。

【0069】その他、保湿剤、ホルモン類、金属イオン封鎖剤、pH調整剤、キレート剤、防腐・防バイ剤、清涼剤、安定化剤、乳化剤、動・植物性蛋白質及びその分解物、動・植物性多糖類及びその分解物、動・植物性糖蛋白質及びその分解物、血流促進剤、炎症剤・消炎剤・抗アレルギー剤、細胞賦活剤、角質溶解剤、創傷治療剤、除毛剤、増泡剤、増粘剤、口腔用剤、消臭・脱臭剤、苦味料、調味料、酵素などが挙げられ、これらとの併用によって、相加的及び相乗的な各種の効果が期待できる。

【0070】又、本発明の顆粒を含有する化粧料組成物は、通常の方法より、カプセル状、粉末状、顆粒状、クリーム状、シート状、液状、固形状、ペースト状、ジェル状、O/W乳化状、W/O乳化状などの化粧料組成物、水性化粧料組成物、乳化化粧料組成物、液晶化粧料組成物などの形態とすることができ、特にO/W乳化状、水性とするのが好ましい。又、塗布するだけのタイプ、マッサージした後洗い流すタイプ、拭き取るタイプなどの剤形に使用することもできる。

【0071】尚、本発明において、顆粒を含有するに際しては、基剤に用いられている溶剤、例えば、水、アルコールなどの含量を勘案して、その溶剤によって選択して行えば良い。

【0072】更に、本発明の顆粒を含有する化粧料組成物は、通常の方法により、顔、首、手、手首、足首、腹、ふくらはぎ、股、頭髮、頭皮などに塗布して使用できるが、マッサージすると、より高い効果を得ることが

できる。マッサージ又は塗布して使用する場合には、例えば、必要量2〜3gを手に取り、顔面、首、手、足、頭髮、頭皮などに塗布し、手のひらや指先で軽くマッサージ(約10〜20秒)を行い、ティッシュやコットンで拭き取るか、又は水、湯で洗い流せば良い。

【0073】具体的には、例えば、外用薬用製剤、化粧水、乳液、クリーム、軟膏、ローション、オイル、パックなどの基礎化粧料、洗顔料や皮膚洗浄料、マッサージ用剤、クレンジング用剤、シャンプー、リンス、ヘアトリートメント、整髪料、パーマ剤、ヘアートニック、染毛料、育毛・養毛料などの頭髮/頭皮化粧料、ファンデーション、口紅、頬紅、アイシャドウ、アイライナー、マスカラなどのメイクアップ化粧料、香水類、浴用剤、その他、歯磨き類、口中清涼剤・含嗽剤、消臭・防臭剤、衛生綿類、ウエットティッシュなど様々な製品に応用でき、又、一般的な飲食品類への使用も可能である。

【0074】尚、本発明の顆粒を含有する化粧料組成物への添加の方法については、予め加えておいても、製造途中で添加しても良く、作業性を考えて適宜選択すれば良い。

#### 【0075】

【実施例】以下に、製造例、試験例、処方例を挙げて説明するが、本発明がこれらに制約されるものではない。

【0076】(製造例1)寒天末(100g)を取り、精製水で5kgとし、加熱して融解する。これを融解攪拌冷却法にて顆粒を造粒し、乾燥後、篩い分けして、顆粒(約125μm)約1.0Kgを得た。

【0077】(製造例2)寒天末(200g)を取り、精製水で5kgとし、加熱して融解する。これを融解攪拌冷却法にて顆粒を造粒し、乾燥後、篩い分けして、顆粒(約3,200μm)約1.0Kgを得た。

【0078】(製造例3)アルギン酸ナトリウム(50g)、精製水で5kgとし、加熱して融解する。これを融解攪拌冷却法にて顆粒を造粒し、乾燥後、篩い分けして、顆粒(約125μm)約1.0Kgを得た。

【0079】(製造例4)アルギン酸ナトリウム(100g)、精製水で5kgとし、加熱して融解する。これを融解攪拌冷却法にて顆粒を造粒し、乾燥後、篩い分けして、顆粒(約3,200μm)約1.0Kgを得た。

【0080】(製造例5)寒天末(100g)及びアルギン酸ナトリウム(50g)を取り、精製水で5kgとし、加熱して融解する。これを融解攪拌冷却法にて顆粒を造粒し、乾燥後、篩い分けして、顆粒(約125μm)約3.5Kgを得た。

【0081】(製造例6)寒天末(200g)及びアルギン酸ナトリウム(100g)を取り、精製水で5kgとし、加熱して融解する。これを融解攪拌冷却法にて顆粒を造粒し、乾燥後、篩い分けして、顆粒(約3,200μm)約3.5Kgを得た。

【0082】(製造例7)寒天末(100g)、タルク(200g)、それに水酸化クロム(5.0g)を取り、精製水で5kgと

10

20

30

40

50

し、加熱して融解する。これを融解攪拌冷却法にて顆粒を造粒し、乾燥後、篩い分けして、顆粒(約125 $\mu$ m)約1.0Kgを得た。

【0083】(製造例8)寒天末(200g)、タルク(200g)、それに水酸化クロム(5.0g)を取り、精製水で5kgとし、加熱して融解する。これを融解攪拌冷却法にて顆粒を造粒し、乾燥後、篩い分けして、顆粒(約3,200 $\mu$ m)約1.0Kgを得た。

【0084】(製造例9)アルギン酸ナトリウム(50g)、タルク(200g)、それに水酸化クロム(5.0g)を取り、精製水で5kgとし、加熱して融解する。これを融解攪拌冷却法にて顆粒を造粒し、乾燥後、篩い分けして、顆粒(約125 $\mu$ m)約1.0Kgを得た。

【0085】(製造例10)アルギン酸ナトリウム(100g)、タルク(200g)、それに水酸化クロム(5.0g)を取り、精製水で5kgとし、加熱して融解する。これを融解攪拌冷却法にて顆粒を造粒し、乾燥後、篩い分けして、顆粒(約3,200 $\mu$ m)約1.0Kgを得た。

【0086】(製造例11)寒天末(100g)及びアルギン酸ナトリウム(50g)、タルク(200g)、それに水酸化クロム(5.0g)を取り、精製水で5kgとし、加熱して融解する。これを融解攪拌冷却法にて顆粒を造粒し、乾燥後、篩い分けして、顆粒(約125 $\mu$ m)約3.5Kgを得た。

【0087】(製造例12)寒天末(200g)及びアルギン酸ナトリウム(100g)、タルク(200g)、それに水酸化クロム(5.0g)を取り、精製水で5kgとし、加熱して融解する。これを融解攪拌冷却法にて顆粒を造粒し、乾燥後、篩い分けして、顆粒(約3,200 $\mu$ m)約3.5Kgを得た。

【0088】(比較例1)寒天末(10g)を取り、精製水で5kgとし、加熱して融解する。これを融解攪拌冷却法にて顆粒を造粒し、乾燥後、篩い分けして、顆粒(約400 $\mu$ m)約100gを得た。

【0089】(比較例2)寒天末(300g)を取り、精製水で5kgとし、加熱して融解する。これを融解攪拌冷却法にて顆粒を造粒し、乾燥後、篩い分けして、顆粒(約1,020 $\mu$ m)約1.0Kgを得た。

【0090】(比較例3)寒天末(300g)を取り、精製水で5kgとし、加熱して融解する。これを融解攪拌冷却法にて顆粒を造粒し、乾燥後、篩い分けして、顆粒(約5,100 $\mu$ m)約1.0Kgを得た。

【0091】(比較例4)アルギン酸ナトリウム(10g)、精製水で5kgとし、加熱して融解する。これを融解攪拌冷却法にて顆粒を造粒し、乾燥後、篩い分けして、顆粒(約400 $\mu$ m)約100gを得た。

【0092】(比較例5)アルギン酸ナトリウム(300g)、精製水で5kgとし、加熱して融解する。これを融解

攪拌冷却法にて顆粒を造粒し、乾燥後、篩い分けして、顆粒(約1,020 $\mu$ m)約1.0Kgを得た。

【0093】(比較例6)アルギン酸ナトリウム(300g)、精製水で5kgとし、加熱して融解する。これを融解攪拌冷却法にて顆粒を造粒し、乾燥後、篩い分けして、顆粒(約5,100 $\mu$ m)約1.0Kgを得た。

【0094】(比較例7)寒天末(10g)及びアルギン酸ナトリウム(10g)を取り、精製水で5kgとし、加熱して融解する。これを融解攪拌冷却法にて顆粒を造粒し、乾燥後、篩い分けして、顆粒(約400 $\mu$ m)約100gを得た。

【0095】(比較例8)寒天末(300g)及びアルギン酸ナトリウム(300g)を取り、精製水で5kgとし、加熱して融解する。これを融解攪拌冷却法にて顆粒を造粒し、乾燥後、篩い分けして、顆粒(約1,020 $\mu$ m)約3.5Kgを得た。

【0096】(比較例9)寒天末(300g)及びアルギン酸ナトリウム(300g)を取り、精製水で5kgとし、加熱して融解する。これを融解攪拌冷却法にて顆粒を造粒し、乾燥後、篩い分けして、顆粒(約5,100 $\mu$ m)約3.5Kgを得た。

【0097】(比較例10)ポリエチレン末(30 $\mu$ m、400g)を攪拌造粒機にて、10%ヒドロキシプロピルセルロース水溶液(200g)を水溶性結合剤として、顆粒を造粒した。次に、乾燥後、篩い分けして、顆粒(約600 $\mu$ m)約250gを得た。

【0098】(比較例11)クルミの核(内果皮)を乾燥、粉砕後、次に、篩い分けして、顆粒(約600 $\mu$ m)約50gを得た。

【0099】(試験1)顆粒硬度の測定

市販品の各種の「本発明品」、ポリエチレン末顆粒、クルミ核顆粒硬度を測定した。

<測定器>

レオメータ(FUDOH RHEO METER NRM-3002D)(不動工業株式会社製)

<試験方法>各種硬度の「本発明品」、ポリエチレン末顆粒、クルミ核顆粒を、それぞれ任意に抽出した10粒について試験を行う。レオメータ(FUDOH RHEO METER NRM-3002D)に、注射器をエアシリンダーとしたものをセットし、試料1粒をアルミプレート上に乗せ、プレートを上昇させて粒が潰れたとき上昇を停止させ、加重を測定する。又、比較品として、比較品1~11を測定した。尚、測定は1検体につき10回行い、その平均値を求め、試験結果は表1に示した。又、同時に平均粒径も測定した。

【0100】

【表1】

検 体	硬度(gf)	平均粒径( $\mu$ m)
製造例1 (本発明品)	100	125
製造例2 (本発明品)	300	3200
製造例3 (本発明品)	100	125
製造例4 (本発明品)	300	3200
製造例5 (本発明品)	200	125
製造例6 (本発明品)	480	3200
製造例7 (本発明品)	100	125
製造例8 (本発明品)	300	3200
製造例9 (本発明品)	100	125
製造例10 (本発明品)	300	3200
製造例11 (本発明品)	200	125
製造例12 (本発明品)	480	3200
寒天末顆粒 (比較品1)	4	400
寒天末顆粒 (比較品2)	560	1020
寒天末顆粒 (比較品3)	700	5200
7-アザノ酸ナトリウム顆粒 (比較品4)	4	400
7-アザノ酸ナトリウム顆粒 (比較品5)	600	1020
7-アザノ酸ナトリウム顆粒 (比較品6)	800	5200
寒天・7-アザノ酸ナトリウム顆粒 (比較品7)	4	400
寒天・7-アザノ酸ナトリウム顆粒 (比較品8)	700	1020
寒天・7-アザノ酸ナトリウム顆粒 (比較品9)	850	5200
ポリエチレン末 (比較品10)	760	600
クルミ内果皮 (比較品11)	1030	600

【0101】(試験結果) 結果は表1の通り、本発明の 50 顆粒(製造例1~12)及び比較品10~11は、硬度



が5～500gf内にあるが、比較品1～9は、硬度が4以下又は501以上にあることが確認された。

#### 【0102】(試験2)安全性試験

##### (1)皮膚一次刺激性試験

製造例1～12によって得られた顆粒(本発明品)2gを精製水60mL混合調製し、背部を剪毛した日本白色家兎(雌性、1群3匹、体重2.3kg前後)の皮膚に適量を取り、手で圧力を加え、マッサージを行った。判定は、適用後24,48,72時間に一次刺激性の評点法にて紅斑及び浮腫を指標として行った。その結果は、すべての動物において、何など、紅斑及び浮腫を認めず陰性と判定された。

#### 【0103】(試験3)安全性試験

##### (2)皮膚累積刺激性試験

同様に製造例1～12によって得られた顆粒(本発明品)2gを精製水60mL混合調製し、側腹部を剪毛したハート\*

(処方例1)マッサージクリーム(O/W型)

	重量%
1.ワセリン	15.0
2.流動パラフィン	50.0
3.1,3-ブチレングリコール	5.0
4.モノステアリン酸グリセリン	3.0
5.オリーブエチレン(20)ノール・タンモラウリン酸エステル	2.0
6.A:製造例1の顆粒(本発明品)	
B:製造例2の顆粒(本発明品)	
C:製造例3の顆粒(本発明品)	
D:製造例4の顆粒(本発明品)	
E:製造例5の顆粒(本発明品)	
F:製造例6の顆粒(本発明品)	
G:製造例7の顆粒(本発明品)	
H:製造例8の顆粒(本発明品)	
I:製造例9の顆粒(本発明品)	
J:製造例10の顆粒(本発明品)	
K:製造例11の顆粒(本発明品)	
L:製造例12の顆粒(本発明品)	
M:寒天末顆粒(比較品1)	
N:寒天末顆粒(比較品2)	
O:寒天末顆粒(比較品3)	
P:7μgノルゲステロン顆粒(比較品4)	
Q:7μgノルゲステロン顆粒(比較品5)	
R:7μgノルゲステロン顆粒(比較品6)	
S:寒天・7μgノルゲステロン顆粒(比較品7)	
T:寒天・7μgノルゲステロン顆粒(比較品8)	
U:寒天・7μgノルゲステロン顆粒(比較品9)	
V:ポリエチレン末(比較品10)	
W:クルミ内果皮(比較品11)	
※A～Wの何れか1種	5.0
7.香料,防腐剤,酸化防止剤	適量
8.精製水	100とする残余

【0106】

\*レー系モルモット(雌性、1群3匹、体重320g前後)の皮膚に1日1回、週5回、皮膚に適量を取り、手で圧力を加え、マッサージを行った。マッサージ塗布は2週に渡って行い、剪毛は各週の最終塗布日に行った。判定は、各塗布日及び最終塗布日の翌日に一次刺激性の評点法にて紅斑及び浮腫を指標として行った。その結果は、すべての動物において、2週間に渡って何等、紅斑及び浮腫を認めず陰性と判定された。

#### 【0104】(処方例)本発明の顆粒含有化粧品組成物の製造

上記の評価結果に従い、以下にその処方例を示すが、処方例は各製品の製造における常法により製造したもので良く、含有量のみを示した。又、本発明はこれらに限定されるわけではない。

#### 【0105】

## (処方例2) マッサージクリーム (W/O型)

	重量%
1. マイクロクリスタリンワックス	9.0
2. 固形パラフィン	2.0
3. ミツロウ	3.0
4. ワセリン	5.0
5. 還元ラノリン	5.0
6. スクワラン	34.0
7. ヘキサデシルアジピン酸エステル	10.0
8. プロピレングリコール	5.0
9. モノオレイン酸グリセリン	3.5
10. エラスチン溶液	1.0
11. ポリオキシエチレン(20)ソルビタンモノオレイン酸エステル	1.0
12. 製造例10の顆粒 (本発明品)	3.0
13. 香料, 防腐剤, 酸化防止剤	適量
14. 精製水	100とする残余

【0107】

## (処方例3) クレンジングクリーム (W/O型)

	重量%
1. 流動パラフィン	50.0
2. ミツロウ	10.0
3. セスキオレイン酸ソルビタン	1.0
4. ラノリン	3.0
5. グリセリン	4.0
6. イオウ末	3.0
7. シソエキス	2.0
8. 製造例3の顆粒 (本発明品)	3.0
9. 香料, 防腐剤, 酸化防止剤	適量
10. 精製水	100とする残余

【0108】

## (処方例4) クレンジングクリーム (O/W型)

	重量%
1. スクワラン	85.0
2. ソルビタンモノオレート	4.0
3. A: 製造例1の顆粒 (本発明品)	
B: 製造例2の顆粒 (本発明品)	
C: 製造例3の顆粒 (本発明品)	
D: 製造例4の顆粒 (本発明品)	
E: 製造例5の顆粒 (本発明品)	
F: 製造例6の顆粒 (本発明品)	
G: 製造例7の顆粒 (本発明品)	
H: 製造例8の顆粒 (本発明品)	
I: 製造例9の顆粒 (本発明品)	
J: 製造例10の顆粒 (本発明品)	
K: 製造例11の顆粒 (本発明品)	
L: 製造例12の顆粒 (本発明品)	
M: 寒天末顆粒 (比較品1)	
N: 寒天末顆粒 (比較品2)	
O: 寒天末顆粒 (比較品3)	
P: 7-ヒン酸ナトリウム顆粒 (比較品4)	

31

32

Q: アルギン酸ナトリウム顆粒 (比較品5)  
 R: アルギン酸ナトリウム顆粒 (比較品6)  
 S: 寒天・アルギン酸ナトリウム顆粒 (比較品7)  
 T: 寒天・アルギン酸ナトリウム顆粒 (比較品8)  
 U: 寒天・アルギン酸ナトリウム顆粒 (比較品9)  
 V: ポリエチレン末 (比較品10)  
 W: クルミ内果皮 (比較品11)

※A~Wの何れか1種

5.0

4.香料, 防腐剤, 酸化防止剤

適量

5.精製水

100とする残余

【0109】

(処方例5) 洗顔クリーム

重量%

1.ミリスチン酸	20.0
2.ステアリン酸	5.0
3.牛脂脂肪酸	3.0
4.プロピレングリコール	9.0
5.水酸化カリウム	6.0
6.ヤシ油脂肪酸ジエタノールアミド	6.0
7.ヒドロキシエチルキトサン溶液	2.0
8.製造例1の顆粒 (本発明品)	2.0
9.製造例4の顆粒 (本発明品)	2.0
10.香料, 防腐剤, 酸化防止剤	適量
11.精製水	100とする残余

【0110】

(処方例6) ペースト状ピールオフパック

重量%

1.酸化チタン	3.0
2.カオリン	5.0
3.製造例5の顆粒 (本発明品)	2.0
4.アルギン酸ナトリウム	1.0
5.ゼニアオイエキス	1.0
6.シモツケソウエキス	1.0
7.エタノール	8.0
8.1,3-ブチレングリコール	8.0
9.香料, 防腐剤, 酸化防止剤	適量
10.精製水	100とする残余

【0111】

(処方例7) 洗い流しクレイパック

重量%

1.酸化亜鉛	3.0
2.ベントナイト	5.0
3.製造例8の顆粒 (本発明品)	3.0
4.グリセリン	5.0
5.コンフリーエキス	2.0
6.細辛エキス	2.0
7.プロピレングリコール	5.0
8.エタノール	8.0
9.香料, 防腐剤, 酸化防止剤	適量
10.精製水	100とする残余

## 【0112】

## (処方例8) コールドクリーム

	重量%
1. サラシミツロウ	11.0
2. 流動パラフィン	22.0
3. ラノリン	10.0
4. アーモンド油	15.0
5. ホウ砂	0.5
6. キイチゴエキス	0.5
7. 熊笹エキス	0.5
8. 製造例3の顆粒(本発明品)	3.0
9. カーボンブラック	適量
10. 香料, 防腐剤, 酸化防止剤	適量
11. 精製水	100とする残余

## 【0113】

## (処方例9) 粉おしろい

	重量%
1. タルク	81.0
2. 酸化チタン	5.0
3. 大豆抽出粉末	3.0
4. 酵母多糖体粉末	3.0
5. ラウリン酸亜鉛	5.0
6. 製造例1の顆粒(本発明品)	6.0
7. 香料, 防腐剤, 着色顔料	適量

## 【0114】

## (処方例10) O/W型クリームファンデーション

	重量%
1. ステアリン酸	4.0
2. モノステアリン酸グリセリン	3.0
3. セタノール	1.5
4. ミリスチン酸イソプロピル	7.0
5. 流動パラフィン	10.0
6. ミツロウ	3.0
7. トリエタノールアミン	1.5
8. グリセリン	3.0
9. ベントナイト	1.5
10. 酸化チタン	8.0
11. ラクトフェリン溶液	2.0
12. トレハロース溶液	2.0
13. アロエエキス	2.0
14. 製造例5の顆粒(本発明品)	6.0
16. 香料, 防腐剤, 酸化防止剤	適量
17. 精製水	100とする残余

## 【0115】

## (処方例11) アイシャドウ

	重量%
1. マイカチタン	70.0
2. ラウリン酸亜鉛	3.0
3. 製造例11の顆粒(本発明品)	6.0
4. シア脂	2.0

35

36

5.延命草エキス	2.0
6.鬱金エキス	2.0
7.着色顔料	1.5
8.流動パラフィン	10.0
9.ウルトラマリングリーン	2.0
10.バルミチン酸オクチル	5.0
11.香料, 防腐剤, 酸化防止剤	適量
12.精製水	100とする残余

【0116】

(処方例12) 固形ほほ紅

	重量%
1.タルク	70.0
2.カオリン	10.0
3.ラウリン酸亜鉛	3.0
4.沈降性炭酸カルシウム	6.0
5.製造例1の顆粒(本発明品)	6.0
6.流動パラフィン	1.5
7.バルミチン酸オクチル	1.5
8.オランダカラシエキス	1.5
9.ゲンチアナエキス	1.5
10.着色顔料	適量
11.香料, 防腐剤, 酸化防止剤	適量
12.精製水	100とする残余

【0117】

(処方例13) 口紅

	重量%
1.キャンデリラロウ	10.0
2.カルナバロウ	3.0
3.タンニン酸エキス	1.0
4.セイヨウネズエキス	3.0
5.マイクロクリスタリンワックス	3.0
6.ラノリン	11.0
7.流動パラフィン	10.0
8.トリ-2-エチルヘキサン酸グリセリン	40.0
9.ヒマシ油	18.0
10.製造例3の顆粒(本発明品)	5.0
11.赤色202号, 赤色226号, 黄色4号7Hベンゾカドレート	適量
12.香料, 防腐剤, 酸化防止剤	適量

【0118】

(処方例14) 水性懸濁型アイライナー

	重量%
1.アクリル系樹脂アルカノールアミンアミン塩(40%)	4.0
2.ベントナイト5%分散液	40.0
3.1,3-ブチレングリコール	8.0
4.ポリビニルアルコール	3.0
5.タイムエキス	2.0
6.紅茶エキス	2.0
7.酸化チタン	2.0
8.黄酸化鉄	20.0
9.製造例1の顆粒(本発明品)	2.0

37

38

- 10.製造例3の顆粒(本発明品)  
 11.香料, 防腐剤, 酸化防止剤  
 12.精製水

2.0  
 適量  
 100とする残余

【0119】

(処方例15) O/W型サン・スクリーン乳液

- 1.ステアリン酸  
 2.自己乳化型モノステアリン酸グリセリン  
 3.セタノール  
 4.ジメチルポリシロキサン  
 5.流動パラフィン  
 6.トリエタノールアミン  
 7.ベントナイト  
 8.プロピレングリコール  
 9.酸化チタン  
 10.トウキンセンカエキス  
 11.トルメンチラエキス  
 12.メリッサエキス  
 13.黄酸化鉄  
 14.製造例6の顆粒(本発明品)  
 15.香料, 防腐剤, 酸化防止剤  
 16.精製水

重量%  
 2.0  
 1.0  
 1.0  
 3.0  
 10.0  
 1.5  
 0.5  
 3.0  
 5.0  
 1.0  
 1.0  
 1.0  
 20.0  
 3.0  
 適量  
 100とする残余

【0120】

(処方例16) 防臭パウダー

- 1.酸化亜鉛  
 2.トリクロサン  
 3.タルク  
 4.流動パラフィン  
 5.緑茶エキス  
 6.ポップエキス  
 7.製造例7の顆粒(本発明品)  
 8.製造例11の顆粒(本発明品)  
 9.香料, 防腐剤, 酸化防止剤

重量%  
 4.9  
 0.1  
 82.0  
 5.0  
 5.0  
 1.0  
 2.0  
 2.0  
 適量

【0121】

(処方例17) ネイルエナメル

- 1.ニトロセルローズ(1/4秒)  
 2.アルキッド系樹脂  
 3.酢酸エチル  
 4.酢酸ブチル  
 5.アセチルクエン酸トリエチル  
 6.ブタノール  
 7.トルエン  
 8.松エキス  
 9.製造例12の顆粒(本発明品)  
 10.グアニン  
 11.着色顔料  
 12.顔料沈降防止剤

重量%  
 15.0  
 13.0  
 14.0  
 20.0  
 6.0  
 5.0  
 23.0  
 2.0  
 3.0  
 適量  
 適量  
 適量

【0122】

## (処方例18) シャンプー

	重量%
1.ラウリル硫酸トリエタノールアミン	5.0
2.ポリオキシエチレンラウリルエーテル硫酸ナトリウム	12.0
3.1,3-ブチレングリコール	4.0
4.ラウリン酸ジエタノールアミド	2.0
5.牡丹皮エキス	3.0
6.マロニエエキス	3.0
7.エデト酸二ナトリウム	0.1
8.製造例1の顆粒(本発明品)	1.0
9.香料,防腐剤	適量
10.精製水	100とする残余

【0123】

## (処方例19) ボディーソープ

	重量%
1.ラウリン酸カリウム	15.0
2.ミリスチン酸カリウム	5.0
3.プロピレングリコール	5.0
4.ハマメリスエキス	2.0
5.白檀エキス	2.0
6.製造例7の顆粒(本発明品)	3.0
7.製造例9の顆粒(本発明品)	3.0
8.pH調整剤	適量
9.防腐剤	適量
10.精製水	100とする残余

【0124】

## (処方例20) リンス

	重量%
1.塩化ステアリルトリメチルアンモニウム	2.0
2.セトステアリルアルコール	2.0
3.ポリオキシエチレンラノリンエーテル	3.0
4.プロピレングリコール	5.0
5.シア脂	3.0
6.モヤシエキス	2.0
7.ユーカリエキス	2.0
8.柚子エキス	2.0
9.製造例1の顆粒(本発明品)	1.0
10.pH調整剤	適量
11.防腐剤	適量
12.精製水	100とする残余

## 【0125】(処方例21) 被覆保護剤

ガーゼ又はリニメント布に製造例5の顆粒(本発明品)・抗生物質・抗炎症など適量を混合した処方液を含浸させ、外傷部に添付する。又、製造例5の顆粒(本発明品)を直接、局所に散布し、ガーゼなどで被覆しても良い。

## 【0126】(試験4) 使用効果試験

本発明の化粧料組成物を実際に使用した場合の効果について検討を行った。使用テストは肌の状態が良好な20～50歳の女性10名をパネラーとし、毎日、朝と夜

の2回、処方例1のマッサージクリーム(O/W型)適量を顔面に塗布し、1ヶ月間連続使用することにより行った。尚、対照には、製造例1～12の顆粒(本発明品)に変えて、試験1で使用した比較品1～11を加えたもので同様な方法にて処方したものをを用いた。又、評価方法は下記の基準にて行い、結果は表2の通りで表中の数値は人数を表す。

【0127】顆粒の肌あたり(肌に対して、ザラザラ感又はチクチク感があるか否か)、顆粒の刺激感(肌に対して、心地良い刺激があるか否か)、顆粒のマッサージ

効果について、良好：5点、やや満足：4点、普通：3点、少し好ましくない：2点、好ましくない：1点として評価を行った。

\*【0128】  
【表2】

\*

検 体	顆粒の 肌あたり	顆粒の 刺激感	顆粒の マッサージ効果
製造例1（本発明品）	4.1	3.4	3.8
製造例2（本発明品）	3.9	4.0	4.0
製造例3（本発明品）	3.8	3.5	3.6
製造例4（本発明品）	4.0	3.9	4.2
製造例5（本発明品）	4.6	4.3	4.0
製造例6（本発明品）	4.8	4.1	4.5
製造例7（本発明品）	3.6	4.0	4.1
製造例8（本発明品）	3.9	4.0	4.2
製造例9（本発明品）	4.2	4.1	3.9
製造例10（本発明品）	3.8	3.5	4.3
製造例11（本発明品）	4.3	4.4	3.8
製造例12（本発明品）	4.5	4.6	4.6
寒天末顆粒（比較品1）	1.3	1.5	1.4
寒天末顆粒（比較品2）	1.6	1.5	1.6
寒天末顆粒（比較品3）	1.7	1.8	1.7
7片 <sup>®</sup> 酸ナリウム顆粒（比較品4）	1.5	1.6	1.4
7片 <sup>®</sup> 酸ナリウム顆粒（比較品5）	1.8	1.9	2.0
7片 <sup>®</sup> 酸ナリウム顆粒（比較品6）	2.0	1.8	1.4
寒天・7片 <sup>®</sup> 酸ナリウム顆粒（比較品7）	1.8	1.4	1.6
寒天・7片 <sup>®</sup> 酸ナリウム顆粒（比較品8）	1.5	2.1	2.1
寒天・7片 <sup>®</sup> 酸ナリウム顆粒（比較品9）	1.8	2.2	2.0



ポリエチレン末 (比較品10)	3.3	2.3	3.8
クルミ内果皮 (比較品11)	2.8	1.6	2.5

【0129】(試験結果)表2の通り、本発明の顆粒を含有した化粧品組成物は、顆粒の肌あたり、顆粒の刺激感共に比較品1～11の顆粒よりも良好であり、又、マッサージ効果も良好な結果が得られ、総合的に見ても優れた使用効果を有することが確認できた。

#### 【0130】(試験5)使用効果試験

本発明の化粧品組成物を実際に使用した場合の効果について検討を行った。使用テストは肌の状態が良好な20～40歳の女性10名をパネラーとし、毎日、朝と夜の2回、処方例4のクレンジングクリーム(O/W型)適量を顔面に塗布し、1ヶ月間連続使用することにより行った。尚、対照には、製造例1～12の顆粒(本発明

品)に変えて、試験1で使用した比較品1～11を加えたもので同様な方法にて処方したものを用いた。又、評価方法は下記の基準にて行い、結果は表3の通りで表中の数値は人数を表す。

10 【0131】顆粒の肌あたり(肌に対して、ザラザラ感又はチクチク感があるか否か)、顆粒の刺激感(肌に対して、心地良い刺激があるか否か)、顆粒の洗浄効果について、良好:5点、やや満足:4点、普通:3点、少し好ましくない:2点、好ましくない:1点として評価を行った。

【0132】

【表3】

検 体	顆粒の 肌あたり	顆粒の 刺激感	顆粒の 洗浄効果
製造例1 (本発明品)	4.0	3.5	3.9
製造例2 (本発明品)	3.8	3.2	4.6
製造例3 (本発明品)	4.0	4.0	3.6
製造例4 (本発明品)	3.8	3.5	4.8
製造例5 (本発明品)	4.2	4.0	3.8
製造例6 (本発明品)	3.7	3.4	4.5
製造例7 (本発明品)	3.9	4.2	3.8
製造例8 (本発明品)	3.8	4.0	4.5
製造例9 (本発明品)	3.9	4.5	3.6
製造例10 (本発明品)	4.2	3.8	3.6
製造例11 (本発明品)	4.2	4.5	3.8
製造例12 (本発明品)	4.5	4.2	4.5
寒天末顆粒 (比較品1)	3.0	1.8	1.4
寒天末顆粒 (比較品2)	4.0	1.5	2.6
寒天末顆粒 (比較品3)	4.0	1.5	2.6
7-β-グルコノ酸ナトリウム顆粒 (比較品4)	2.6	4.5	1.4
7-β-グルコノ酸ナトリウム顆粒 (比較品5)	3.0	4.5	2.6
7-β-グルコノ酸ナトリウム顆粒 (比較品6)	3.0	4.5	2.6
寒天・7-β-グルコノ酸ナトリウム顆粒 (比較品7)	4.5	4.5	1.4
寒天・7-β-グルコノ酸ナトリウム顆粒 (比較品8)	4.5	4.5	2.6
寒天・7-β-グルコノ酸ナトリウム顆粒 (比較品9)	4.5	4.5	2.6

47

48

ポリエチレン末 (比較品10)	3.8	3.0	3.0
クルミ内果皮 (比較品11)	2.5	1.6	3.6

【0133】(試験結果)表3の通り、本発明の顆粒を含有した化粧料組成物は、顆粒の肌あたり、顆粒の刺激感共に比較品1～11の顆粒よりも良好であり、又、顆粒の洗浄効果も良好な結果が得られ、総合的に見ても優れた使用効果を有することが確認できた。

【0134】

【発明の効果】本発明の化粧料組成物は、特定の粒径・硬度の顆粒を含有しているため、顆粒自体の肌あたりが良く、又、顆粒の心地良い刺激感も得られ、肌の汚れに対する洗浄力も十分有するものである。又、本発明の顆\*

10 \*粒は、製造取扱時の粉立ちが無く、顆粒自体に弾力性があるので、指先などで圧力をかけても、潰れることが殆どなく、もし、潰れても弾力性を有する顆粒であるため、顆粒破片によって肌を傷つけることもない。又、適度なマッサージ効果を有し、従って、顆粒により肌を傷つけられることがないものである。又、更に顆粒に着色性物質が顆粒に安定な状態で配合されているので、視覚状、優美な形態の化粧料組成物を製造することができる。

フロントページの続き

(51)Int.Cl.<sup>7</sup>

識別記号

F I

テマコード (参考)

A 6 1 K 7/00

A 6 1 K 7/00

L

C

N

A

P

7/02

7/02

7/025

7/025

7/031

7/031

7/032

7/032

7/035

7/035

7/043

7/043

7/075

7/075

7/08

7/08

7/32

7/32

7/42

7/42

7/50

7/50

9/70

3 0 1

9/70

3 0 1

Fターム(参考) 4C076 AA12 AA17 AA29 AA51 AA71  
BB31 DD21 DD25 DD27 DD28  
DD29 DD30 DD34 DD37 DD38  
DD41 DD45 DD46 DD50 EE30  
EE33 EE36 EE53 EE54 EE55  
EE58  
4C083 AA032 AA082 AA112 AA122  
AB032 AB112 AB132 AB152  
AB212 AB232 AB242 AB322  
AB432 AB442 AC012 AC022  
AC032 AC072 AC102 AC122  
AC242 AC312 AC352 AC372  
AC422 AC442 AC472 AC532  
AC542 AC642 AC692 AC742  
AC782 AC792 AC812 AC852  
AC862 AD092 AD112 AD152  
AD211 AD212 AD262 AD301  
AD302 AD352 AD412 AD512  
BB21 CC01 CC05 CC07 CC12  
CC13 CC14 CC17 CC19 CC23  
CC28 CC38 CC39 DD16 DD17  
DD21 DD22 DD23 DD31 DD32  
DD33 EE07 EE17 EE18 EE50  
FF01